

2010年10月号

末日聖徒イエス・キリスト教会

リアホナ



特別号

末日聖徒
イエス・キリスト教会の
神殿

ようこそ！ 今月号の機関誌は何かが違うと、もうお気づきの ことでしょう。

1年以上前、『末日聖徒イエス・キリスト教会の神殿』の改訂版を出すことが決定されました。この冊子は当教会の神殿における礼拝について説明し、世界中の神殿に注目するものです。この冊子は幾つかの言語版では絶版になっており、会員たちから入手方法に関する問い合わせが後を絶ちませんでした。旧版にはトーマス・S・モンソン大管長のメッセージが含まれておらず、また旧版の出版以降に建設されたたくさんの神殿が掲載されていないため、大管長会と十二使徒定員会は、再販するのではなく最新版を制作することを承認しました。

どこが違いますか

この新版には旧版と同じ内容も含まれていますが、天の御父の幸福の計画の中で神殿が非常に大切な理由について、青少年や子供たちも含めもっと多くの読者がよりよく理解できるような新しい内容も含まれています。

神殿の冊子はこれまでは教会配送センターを通じてしか入手できませんでしたが、今回は、可能な限り多くの家庭にこの冊子を届けるために、『リアホナ』と『エンサイン』(Ensign)の定期購読者全員に冊子を送ることになりました。多くの言語においては、近い将来増刷され、教会配送センターから入手できるようになります。

今月号をどのように使うことができますか

ホームティーチャーや訪問教師は、今月号には大管長会メッセージや扶助協会からのメッセージがないことに気づくことでしょう。皆さんは、今月号のページの中からよく祈って選んだメッセージを分かち合うことによって、訪問する相手の必要を満たすことができます。トーマス・S・モンソン大管長の記事を選べば、多くの家族が益を得られるでしょう。

さらに、冊子の裏表紙の内側には、初等協会で使用できる歌があります。

神殿における礼拝は、イエス・キリストの福音の中心です。わたしたちはこの出版物を提供できることをうれしく思い、末日聖徒イエス・キリスト教会にとって根本的に重要な教義であり、神の力によって指定されたこの慣習を、理解し、遵守し、ほかの人に分かち合おうと努める家族と個人が、この出版物から慰めと導きと靈感を得ることができるようにと望んでいます。

ご意見をお寄せください

1. あなたに大きな影響を与えてくれたモルモン書の聖句や教えや物語はありますか。その聖句のおかげでどのような^{あかし}経験や理解が得られましたか。モルモン書の聖句に関する経験や証を電子メールで liahona@ldschurch.org までお送りください。
2. 質疑応答コーナーでは、以下の質問に対する青少年からの回答を歓迎します。質問——「モルモン書はわたしたちの時代のために書かれたものであると聞きましたが、それはどういう意味ですか。」あなたの回答と、あなたの回答と写真の掲載を許可する保護者の言葉を、電子メールで liahona@ldschurch.org までお送りください。



リアホナ 2010年10月号

第12巻10号(09290300)

末日聖徒イエス・キリスト教会公式国際機関誌(日本語版)

大管長会: トーマス・S・モンソン, ヘンリー・B・アイリング, ティーター・F・ウーグトルフ

十二使徒定員会: ボイド・K・バックナー, L・トム・ベリール, ラッセル・M・ネルソン, ダリン・H・オークス, M・ラッセル・バラード, リチャード・G・スコット, ロバート・D・ヘイルズ, ジェフリー・R・ホランド, デビッド・A・ベドナー, クエンティン・L・クック, D・トッド・クリストファーソン, ニール・L・アンダーセン

編集長: ボール・B・パイパー

顧問: スタンレー・G・エリス, クリストフェル・ゴールデン・ジュニア, 菊地良彦

実務運営ディレクター: デビッド・L・フリッシュニク

編集ディレクター: ビンセント・A・ボーン

編集主任: ラリー・ヒラ

クラフティクスディレクター: アラン・R・ロイボーク

編集主幹: R・バル・ジョンソン

編集主幹補佐: ジェニファー・L・グリーンウッド, アダム・C・オルソン

共同編集者: ライアン・カー

編集補佐: スーザン・バレット

編集スタッフ: デビッド・A・エドワーズ, マシュー・D・フリットン, ラリー・ボーター, ガント, ラリー・ヒラ, キャリー・カステン, ジェニファー・マディー, メリッサ・メリル, マイケル・R・モリス, サリー・J・オデカーク, ジョシュア・J・パーキー, チャド・E・ファレス, ジェン・ビンボロー, リチャード・M・ロムニー, ドン・L・サール, ジャネット・トーマス, ボール・バンデンバーク, ジュリー・ワーデル

主任秘書: ローレル・トイスチャー

実務運営アートディレクター: J・スコット・クヌーセン

アートディレクター: スコット・バン・カンペン

制作主幹: ジェーン・アン・ピーターズ

デザイン・制作スタッフ: カリ・R・アロヨ, コレット・ネバカー・オース, ハワード・G・ブラウン, ジュリー・バーデット, トーマス・S・チャイルド, レジナルド・J・クリステンセン, キム・フェンスターマカー, キャスリーン・ハワード, エリック・P・ジョンソン, デニス・カービー, スコット・M・ムーイ, ギニー・J・ニコルソン

製版: ジェフ・L・マーティン

印刷ディレクター: クレグ・K・セドウィック

配送ディレクター: エバン・ラーセン

日本語版翻訳課長: ヘンリー・W・サブストローム

●定期購読は、「[リアホナ]注文用紙」でお申し込みになるか、郵便振替(口座名/末日聖徒イエス・キリスト教会 振込口座番号/00100-6-41512)にて教会管理本部配送センターへご送金いただければ、直接郵送いたします。●「リアホナ」のお申し込み・配送についてのお問い合わせ……〒133-0057 東京都江戸川区西小岩 5-8-6 / 末日聖徒イエス・キリスト教会 管理本部配送センター 電話: 03-5668-3391

発行所: 末日聖徒イエス・キリスト教会

〒106-0047 東京都港区南麻布 5-10-30

電話: 03-3440-2351

定価: 年間予約/海外予約 1,000円(送料共)

普通号/大会号 150円

「リアホナ」へのご投稿およびご質問は下記の連絡先にお送りください。

Rm. 2420, 50 E. North Temple St.,

Salt Lake City, UT 84150-0024, USA

電子メール: liahona@ldschurch.org

「リアホナ」は、www.liahona.lds.org に様々な言語で掲載されています。「リアホナ」(モルモン書に出てくる言葉。「羅針盤」または「指示器」の意)は、以下の言語で出版されています。アルバニア語、アルメニア語、ビスマラ語、ブルガリア語、カンボジア語、セブア語、中国語、クロアチア語、チェコ語、デンマーク語、オランダ語、英語、エストニア語、フィジー語、フィンランド語、フランス語、ドイツ語、ギリシャ語、ヒンディー語、ハンガリー語、アイスランド語、インドネシア語、イタリア語、日本語、ギリバス語、韓国語、ラトビア語、リトニア語、マダガスカル語、マラヤ語、マルタ語、モンゴル語、ノルウェー語、ポーランド語、ポルトガル語、ルーマニア語、ロシア語、サモア語、シンハラ語、スロベニア語、スペイン語、スウェーデン語、タガログ語、タミル語、テルグ語、タイ語、トンガ語、ウクライナ語、ウルドゥー語、ベトナム語。(発行頻度は言語により異なります。)

©2010 Intellectual Reserve, Inc. 版權所有。印刷: 日本

「リアホナ」に掲載されている文章や視覚資料は、教会や家庭において一時的に、また非営利目的に使用する場合は複写することができます。視覚資料に関しては、作品の著作権表示に制限が記されている場合に複写できないことがあります。著作権に関するご質問は、Intellectual Property Office, 50 E. North Temple St., Salt Lake City, UT 84150, USA に郵送するか、電子メール——cor-intellectualproperty@ldschurch.org にご連絡ください。

For Readers in the United States and Canada: October 2010 Vol. 34 No. 10. LIAHONA (USPS 311-480) English (ISSN 1080-9554) is published monthly by The Church of Jesus Christ of Latter-day Saints, 50 E. North Temple St., Salt Lake City, UT 84150. USA subscription price is \$10.00 per year; Canada, \$12.00 plus applicable taxes. Periodicals Postage Paid at Salt Lake City, Utah. Sixty days' notice required for change of address. Include address label from a recent issue; old and new address must be included. Send USA and Canadian subscriptions to Salt Lake Distribution Center at address below. Subscription help line: 1-800-537-5971. Credit card orders (Visa, MasterCard, American Express) may be taken by phone. (Canada Poste Information: Publication Agreement #40017431)

POSTMASTER: Send address changes to Salt Lake Distribution Center, Church Magazines, PO Box 26368, Salt Lake City, UT 84126-0368.

末日聖徒イエス・キリスト教会の

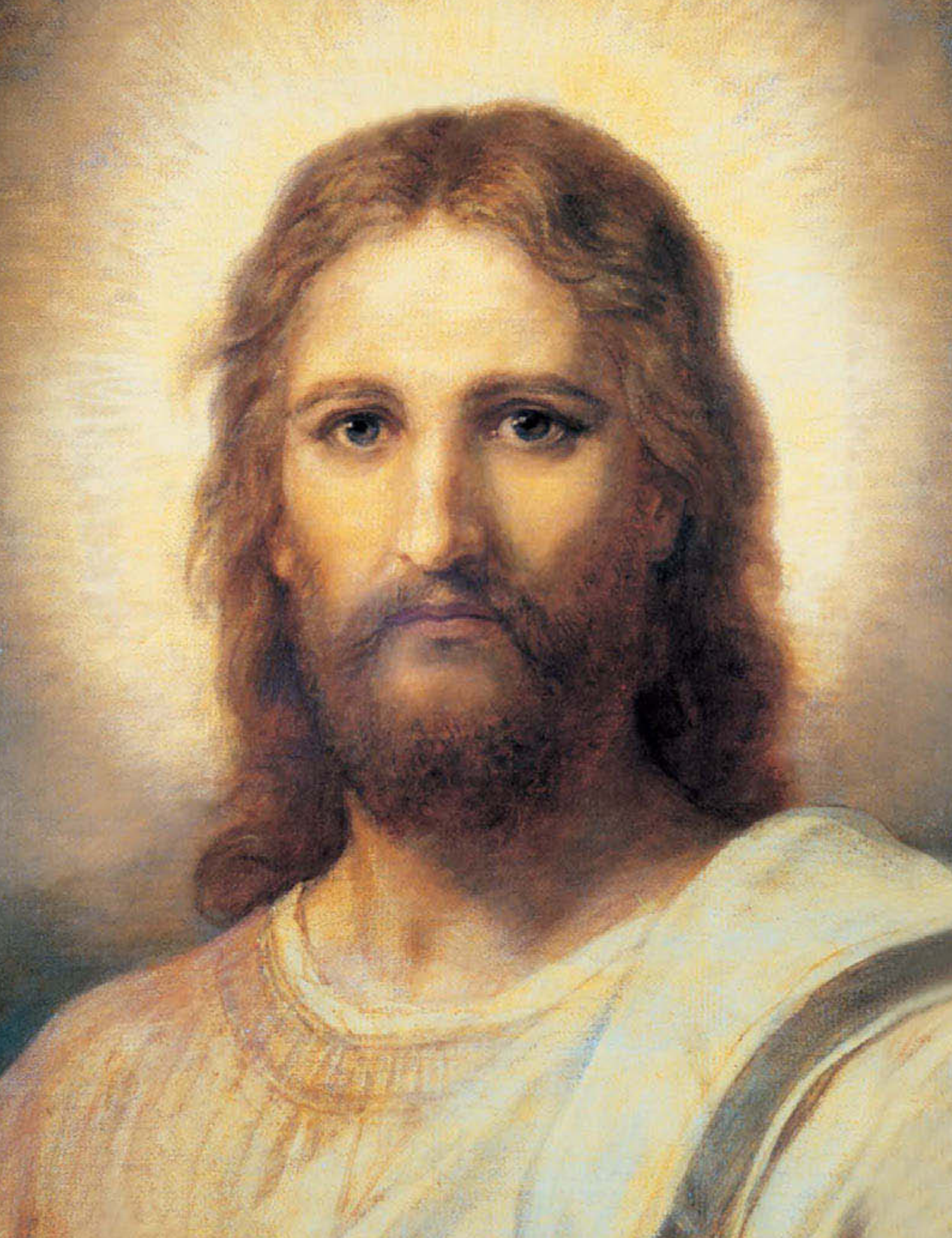
神殿

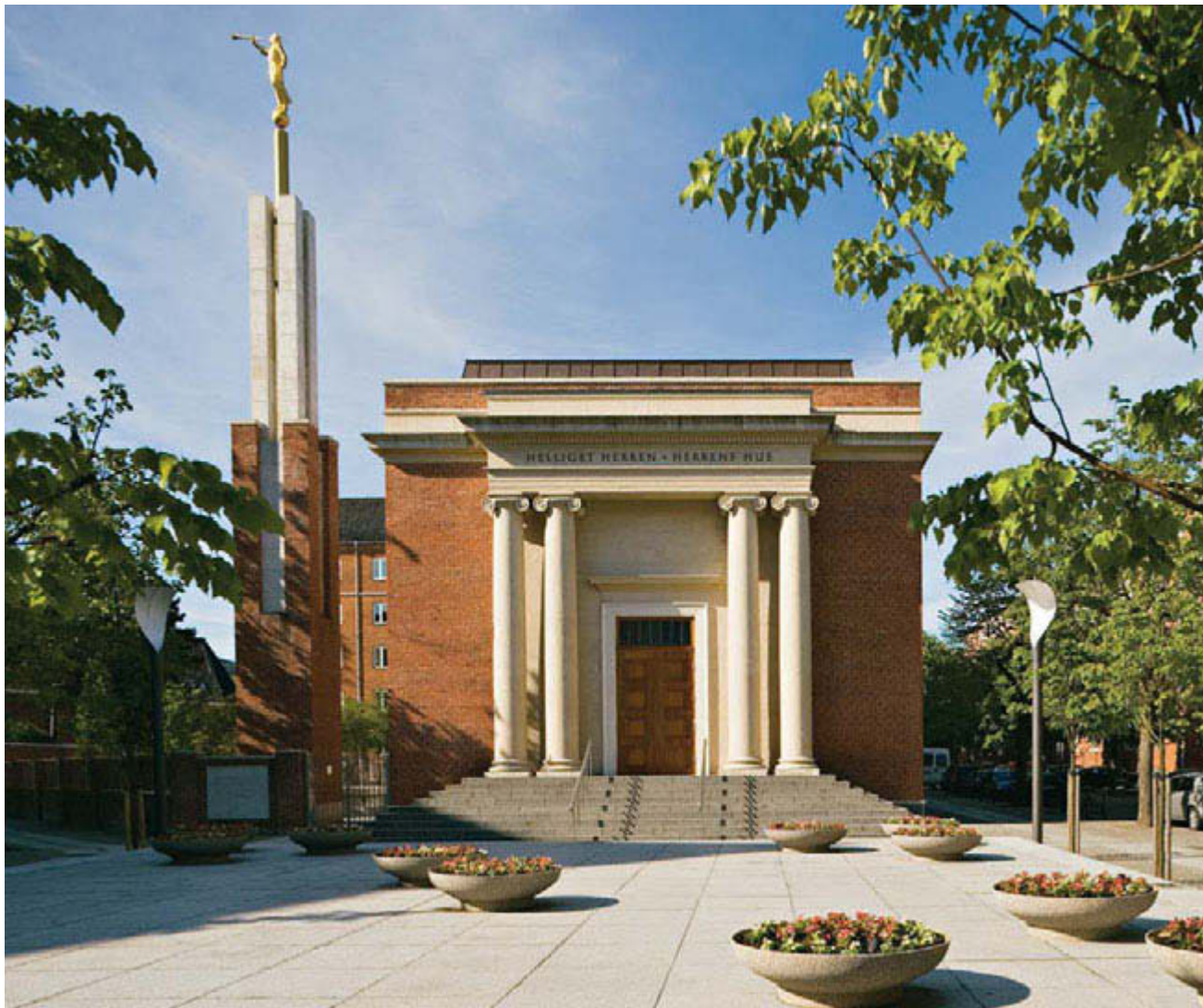


イエスは……言われた、
「わたしは世の光である。
わたしに従って来る者は、
やみのうちを歩くことがなく、
命の光をもつであろう。」

ヨハネ 8 : 12

主の宮の中において、
わたしたちは聖霊の影響を感じ、
永遠の父なる神と
その愛する御子イエス・キリストに
近づきます。





どの神殿の写真も、その外観および内装の写真を含めて、
複写することを禁じられています。

発行：
末日聖徒イエス・キリスト教会
ユタ州ソルトレーク・シティ
©2010 Intellectual Reserve, Inc. 版權所有
印刷：日本
英語版承認：2009年8月
日本語版承認：2009年8月
09339 300

写真と絵 —

特記された場合を除き、写真と絵は末日聖徒イエス・キリスト教会が所有するものであるか、あるいは、作者または撮影者の許可を得て掲載されています。

4 - 5 ページ — © Robert A. Baird
5 ページ — © Altus Photo Design
6 ページ — © Val Brinkerhoff
7 ページ — © Scott Cannon
8 - 9 ページ — © Fredy Apaza Ramirez
10 ページ — © Val Brinkerhoff

27 ページ — © John Telford
48 ページ — © Pacific Press Publishing Association, Inc.
(セブンスデー・アドベンチスト教会)
54 ページ — 「アロンをその務めに召すモーセ」
ハリール・アンダーソン, © IRI
55 ページ — 「神殿の奉獻に際して祈るソロモン」
© Robert T. Barrett. 複写は禁じられています。
裏表紙裏 — © Martin Van Hemert
裏表紙 — © Robert A. Baird

目次

末日聖徒イエス・キリスト教会の会員は、神殿を神の宮、地上で最も神聖な場所であると考えています。この冊子には、神殿の目的と大切さについて、また神殿の中で行われている儀式が持つ永遠の意義についての有益な情報が掲載されています。

この冊子はインターネット temples.lds.org にも掲載されています。

4 主の宮

フォトエッセイ

12 神殿の祝福

トーマス・S・モンソン大管長

20 なぜ神殿を

ゴードン・B・ヒンクレー大管長

28 聖なる神殿

ボイド・K・バッカー会長

36 神殿に心を向ける民

ハワード・W・ハンター大管長

40 神殿の祝福のために備える

ラッセル・M・ネルソン長老

52 神殿の歴史

ジェームズ・E・タルメージ長老

60 この宮に関すること

フォトエッセイ

68 神殿の奉仕、神殿の祝福

神殿結婚は何にも代えがたい
価値がありました

ジオバニー・メディナ

神殿はどのように助けになるか

フランシス・W・ホジソン

72 こどもたちへ——

あなたの道は
しんでんへ 続いています

76 青少年へ——

神殿を生活の一部にする

79 よくある質問



◀デンマーク・コペンハーゲン神殿
奉献日：2004年5月23日

▲オーストラリア・アデレード神殿
奉献日：2000年6月15日

表紙——ソルトレーク神殿
奉献日：1863年4月6日

裏表紙——オレゴン州ポートランド神殿
奉献日：1989年8月19日

主の宮

神殿は文字どおり主の宮です。

そこは神が御自分の子供たちを教え、

御自分のもとへ帰れるように

子供たちを備える場所です。

そこは、わたしたちが家族として結ばれ、

主の道を教わる場所です。





「救^い主^が
地上におられたとき、
神殿は主にとって
学びの場所でした。
主の生活とは
切っても切れないもの
だったので。
現在のわたしたちにも
神殿の祝福に浴する機会が
与えられています。」
(ジェームズ・E・ファウスト
『万物の回復』
『リアホナ』2006年5月号、
62-67)

◀ ワシントンD.C. 神殿
奉獻日：1974年11月19日
▲ 泉 テネシー州ナッシュビル神殿





「わたしたちは
イエス・キリストの贖罪^{しよぐい}の力が
際限なく及ぶことを、
先祖を探し出し、
彼らが自分では行えない
救いの儀式を
執行することによって
証^{あかし}しています。」
(D・トッド・クリストファーソン
「死者の贖いと、イエスへの証」
『リアホナ』2001年1月号、11)

- ◀ ステンドグラス
ニューヨーク州バルマイラ神殿（左端）
- ◀ 中国香港^{香港}神殿
奉献日：1996年5月26日
- ▲ アーチ ユタ州バウンティフル神殿





「バプテスマの水で始まる
イエス・キリストの
御名^{みな}を受ける過程が
主の宮で続けられ、
展開されていくことが
分かります。
……こうして、
聖なる神殿の儀式で
イエス・キリストの御名を
いっそう完全に、
余すところなく受けるのです。」
(デビッド・A・ベドナー
「名と地位を立派に維持する」
『リアホナ』2009年5月号, 98)

◀ ボリビア・コチャバンバ神殿
奉献日：2000年4月30日

▲ 石細工の一部
アルバータ州カードストーン神殿



「光り輝く神殿は、
その壮麗なたたずまいを
目にする人々をこのように
誘っているかのようです。
『来たれ、主の家に来たれ。
ここには疲れた者への
安息と心の平安がある。』
……神殿は
〔そこへ〕入るすべての人々に、
故郷すなわち、天国、家庭、
神のみそばへ帰る備えを
させてくれる所なのです。』
(トーマス・S・モンソン
「決して忘れられぬ日々」
『聖徒の道』1991年1月号、
71, 75)

▲ 柵 カリフォルニア・サクラメント
神殿

▶ ガーナ・アクラ神殿
奉献日：2001年1月11日







神殿の祝福

末日聖徒イエス・キリスト教会 第16代大管長
トーマス・S・モンソン大管長

神殿では主を身近に感じることができ

主の聖なる神殿以上に主を身近に感じられる場所は世界のどこにもないと、わたしは思います。そのことを詩にしてみましょう。

天はどれほど遠いのか？

あまり遠くないよ。

神殿の中にあるんだ、

まさにわたしたちがいる所にあるんだよ。

主はこう告げておられます。

「あなたがたは自分のために、虫が食い、さびがつき、また、盗人らが押し入って盗み出すような地上に、宝をたくわえてはならない。

むしろ自分のため、虫も食わず、さびもつかず、また、盗人らが押し入って盗み出すこともない天に、宝をたくわえなさい。

あなたの宝のある所には、心もあるからである。」¹

末日聖徒イエス・キリスト教会の会員にとって、神殿は地上で最も神聖な場所です。それは主の宮であり、神殿の外壁に刻まれた言葉のとおり、神殿は「聖きを主に捧ぐ」場所なのです。

神殿はわたしたちを引き上げ、高める

神殿では、神の貴い計画が教えられます。神殿では、永遠の聖約が交わされます。神殿はわたしたちを引き上げ、高め、それを見るすべての人に対するかがり火として立っており、またわたしたちを日の栄えの栄光に向かわせるものです。それは神の宮です。神殿内での出来事はすべて、人を高め、気高くします。

神^殿は
わたしたちの人生に

目的を与えてくれます。

それはわたしたちの心に

平安をもたらします。

その平安は、

人から与えられる平安ではなく、

神の御子が

約束してくださった平安です。

御子はこのように

述べておられます。

「わたしは平安を

あなたがたに残して行く。

わたしの平安を

あなたがたに与える。」

◀ ベルー・リマ神殿
奉献日：1986年1月10日



わたしたちが神殿に触れ、神殿を大切にするとき、その生活は信仰を反映したものとなります。聖なる神殿に行くとき、そこで交わす聖約を思い起こすとき、わたしたちはあらゆる試練に耐え、それぞれの誘惑を克服することができるでしょう。

神殿は家族のためにあります。家族は死すべき世における最も素晴らしい宝物の一つです。主は、わたしたち父親には心を尽くして妻を愛し、妻と子供たちを扶養する責任があると、きわめて明快に告げておられます。わたしたち親が行える最も偉大な働きは自分の家庭の中にあること、そして自分の家庭を天国にできること、特に結婚が神の宮で結び固められるときにそれが可能であることを、主は告げておられます。

十二使徒定員会会員であった故マシュー・カウリー長老は、かつて、一人の祖父がある土曜日の午後、幼い孫娘の誕生日に、互いに手をつないで、動物園や映画館ではなく、神殿に連れて行ったときの経験について話をしたことがあります。管理人の許可を得て、二人は神殿の大きな扉の前に行きました。祖父は彼女に、神殿のどっしりとした壁に手を触れ、次に大きな扉に触れるように勧めました。それから、優しくこう言いました。「今日、神殿に触ったことを覚えておきなさい。いつか、この中に入るんだよ。」幼い孫娘への彼の贈り物は、キャンディーやアイスクリームではなく、それよりもはるかに価値があり、永遠に残る経験でした。主の宮の真価を知る経験でした。

彼女は神殿に触れ、神殿は彼女の心に触れたのです。

神殿は心に平安をもたらす

わたしたちが神殿に触れ、神殿を大切にするとき、その生活は信仰を反映したものとなります。聖なる神殿に行くとき、そこで交わす聖約を思い起こすとき、わたしたちはあらゆる試練に耐え、それぞれの誘惑を克服することができるでしょう。神殿はわたしたちの人生に目的を与えてくれます。それはわたしたちの心に平安をもたらします。その平安は、人から与えられる平安ではなく、神の御子が約束してくださった平安です。御子はこのように述べておられます。「わたしは平安をあなたがたに残して行く。わたしの平安をあなたがたに与える。わたしが与えるのは、世が与えるようなものとは異なる。あなたがたは心を騒がせるな、またおじけるな。」²

末日聖徒の間には偉大な信仰があります。主はわたしたちが主の戒めに従うかどうか、ナザレのイエスが歩まれた道を歩むかどうか、心と勢力と思いと力を尽くして主を愛し、また自分自身のように隣人を愛するかどうかを見る機会を与えてくださっています。³



わたしたち親が行える
最も偉大な働きは
自分の家庭の中にあること、
そして自分の家庭を
天国にできること、
特に結婚が神の宮で
結び固められるときに
それが可能であることを、
主は告げておられます。

◀ユタ州セントジョージ神殿
奉献日：1877年4月6日
再奉献日：1975年11月11日



ふさわしい

若い男性と若い女性は、
12歳の若さで、
バプテスマの祝福を
受けることなく
亡くなった人々のために
代理人となることが
できます。

わたしは箴言の次の言葉を信じています。「心をつくして主に信頼せよ、自分の知識にたよってはならない。すべての道で主を認めよ、そうすれば、主はあなたの道をまっすぐにされる。」⁴

かつて必ずそうでしたし、今後も必ずそうでしょう。わたしたちは、自分の義務を果たし、主に全幅の信頼を寄せるならば、主の神殿を満たすでしょう。自分自身の儀式を行うだけでなく、ほかの人々のために儀式を行う特権があります。夫と妻と子供たちを永遠に結び合わせる結び固めの儀式で、代理人として神聖な

聖壇にひざまずくでしょう。ふさわしい若い男性と若い女性は、12歳の若さで、バプテスマの祝福を受けることなく亡くなった人々のために代理人となることができます。これを行うように、天の御父はあなたやわたしに望んでおられます。

奇跡は起こった

何年も前のこと、謙遜^{けんそん}で信仰^{あつ}の篤いパーシー・K・フェッツァー兄弟は、鉄のカーテンの向こう側に住んでいる教会員に祝福師の祝福を受けるように召されました。

▲ フィリピン・マニラ神殿
奉献日：1984年9月25日
▶ ユタ州バウンティフル神殿
奉献日：1995年1月8日

その暗黒の時代に、フェッツァー兄弟はポーランドの地を訪れました。国境は閉ざされ、市民はだれも国から出ることを許されませんでした。フェッツァー兄弟は、第二次世界大戦後に国境が変更されたときにその地に閉じ込められたドイツ人の聖徒たちに会いました。彼らが住んでいた地がポーランドの一部になったのです。

ドイツ人の聖徒たちの指導者は、エリック・P・コーニツ兄弟でした。彼は妻や子供たちとそこに住んでいました。フェッツァー兄弟は、コーニツ兄弟と姉妹、それに年長の子供たちに祝福師の祝福を受けました。

フェッツァー兄弟は合衆国に帰って来ると、わたしを訪ねてよいか電話をかけてきました。彼はわたしの部屋でいすに座ると、泣き始め、そして言いました。「モンソン兄弟、わたしはコーニツ家の人たちの頭に手を置いたとき、成就の不可能な約束を与えてしまいました。コーニツ兄弟と姉妹に、母国ドイツに帰れることと、占領国の独断で囚われの身に置かれることはなくなることを、そして主の宮で家族としてともに結び固めを受けるであろうということを約束したのです。息子さんには伝道に出るであろうと約束し、娘さんには神の聖なる神殿で結婚するであろうと約束しました。御存じのように、国境が閉ざされているので、彼らのその祝福は成就しないでしょう。わたしは何ということをしたのでしょうか。」

わたしは言いました。「フェッツァー兄弟、あなたは天の御父が望んでおられたことを行ったにすぎないということを、御自分でよくお分かりでしょう。」わたしたち二人はデスクの傍らにひざまずき、天の御父に心を注ぎ出して、現時点では不可能な神殿とその他の祝福に関する約束が献身的な家族に宣言されたことを告げました。わたしたちに必要な奇跡を起こせるのは、御父だけでした。

その奇跡が起こりました。ポーランド政府の指導者とドイツ連邦共和国の指導者の間で条約の調印が行われ、その地域に閉じ込められていたドイツ国民は西ドイツに移り住むことを認められたのです。コーニツ兄弟姉妹と子供たちは西ドイツに移り住み、コーニツ兄弟は彼らが居住していたワードのビショップになったのです。

コーニツ家族は全員、スイスの聖なる神殿に参入しました。白いスーツ姿で両手を広げて彼らを迎えた神殿会長はだれだったでしょうか。ほかならぬ、彼らに約束を与えた祝福師、パーシー・フェッツァーその人でした。彼はスイス・ベルン神殿の会長として、主の宮に彼らを迎え、約束を成就し、夫婦を結び固め、子供たちをその両親に結び固めたのです。

やがて若い娘はその主の宮で結婚しました。若い息子は召しを受け、専任宣教師として伝道しました。



わたしたちは、
自分の義務を果たし、
主に全幅の信頼を寄せるならば、
主の神殿を満たすでしょう。
自分自身の儀式を
行うだけでなく、
ほかの人々のために
儀式を行う特権があります。



神殿では、神の貴い計画が教えられます。神殿では、永遠の聖約が交わされます。
神殿内での出来事はすべて、人を高め、気高くします。

「神殿で会いましょう。」

ある人にとっては、神殿までの距離はわずか数ブロックにすぎません。しかし、神の聖なる神殿に参入するのに大洋を越えなければならない人や、遠い旅をしなければならない人もいます。

南アフリカに神殿が完成する何年か前のこと、当時ローデシアのソールズベリーと呼ばれていた所で行われた地方部大会に出席した折に、わたしはレジナルド・J・ニールド地方部会長に会いました。礼拝堂に入ると、彼と妻と愛らしい娘たちがいました。彼らはわたしに、主の神殿に行ける日のために貯蓄し、準備していると言いました。しかし、ああ、神殿まで何と遠いことでしょう。

集会が終わると、その愛らしい4人の娘が神殿についてわたしに尋ねました。「神殿はどのような所ですか。わたしたちが見ているのは絵だけです。」「神殿に入ったらどのように感じますか。」「何をしっかり覚えておけばよいですか。」およそ1時間、わたしは4人の少女と主の神殿について語り合う機会を持ちました。空港に向かうとき、彼女たちはわたしに手を振り、いちばん年下の女の子が、「神殿で会いましょう」と言いました。

1年後、わたしはソルトレーク神殿でニールド家族を迎える機会がありました。静かな結び固めの部屋で、わたしは、この世だけでなく永遠にニールド兄弟姉妹を結び固める特権を得ました。その後、ドアが開かれ、4人の娘がそれぞれ汚れない白いドレスを着て部屋に入って来ました。彼女たちは母親と抱き合い、それから父親と抱き合いました。彼らの目には涙があり、心には感謝の思いがありました。天はわたしたちのすぐそばにありました。そして、互いにこう言い合いました。「今、わたしたちは永遠に一つの家族です。」

これが神殿に参入する人々を待ち受けているすばらしい祝福です。神殿が人生と家族に影響を及ぼすものとなるために、わたしたち一人一人が清い手と純真な心をもってふさわしい生活をするようになります。

天はどれほど遠いのでしょうか。わたしは証^{あかし}します。決して遠くではなく、聖なる神殿にあります。それは天と地が会うこの神聖な場所にあるからです。天の御父はその子供たちに最大の祝福を授けてくださいます。

注

1. マタイ 6：19 - 21
2. ヨハネ 14：27
3. マタイ 22：37 - 39 参照
4. 箴言 3：5 - 6



静かな結び固めの部屋で、
わたしは、
この世だけでなく永遠に
ニールド兄弟姉妹を
結び固める特権を得ました。
彼らの目には涙があり、
心には感謝の思いがありました。
天はわたしたちの
すぐそばにありました。

◀ スイス・ベルン神殿
奉献日：1955年9月11日
再奉献日：1992年10月23日
▲ 結び固めの部屋 ソルトレーク神殿



なぜ神殿を

末日聖徒イエス・キリスト教会 第15代大管長
ゴードン・B・ヒンクレー大管長（1910-2008年）

神殿は人生についての疑問に不変の答えを与えてくれる場所です

静かに自分自身を見つめ直すとき、わたしたちは人生の厳粛な神秘に思いをはせずにはられません。

皆さんはこう自問したことがないでしょうか。「わたしはどこから来たのだろうか。なぜここにいるのだろうか。これからどこに行こうとしているのだろうか。わたしを創造された御方とわたしはどのようなつながりがあるのだろうか。死によって大切な人々とのつながりも絶えてしまうのだろうか。家族はどうなるのだろうか。この世の生涯を終えた後も、別の世があるのだろうか。もしそうだとしたら、そこでまた親しい人々と会えるのだろうか。」

これらの質問に対する答えは、この世の知恵で得られるものではありません。啓示された神の言葉の中でしか得られないのです。末日聖徒

イエス・キリスト教会の神殿は、これらの疑問をはじめとする、永遠にかかわる疑問に答えを与えてくれる神聖な建物です。どの神殿も主の宮として、この世の事柄から隔たった、神聖で平安な場所として奉献されています。そこでは真理が教えられ、永遠の事柄についての知識を与える儀式が執行されます。神殿に参入する人々は、これらの儀式を通して、神の子供としての神聖な受け継ぎを理解し、永遠の存在として内に秘めた可能性を認識します。そしてそれを常に心に留めて生きていこうと決心するのです。

神殿は目的と機能においてどんな宗教的建造物とも異なった特徴があります

これらの建物は、世界中に建てられている教会の一般の礼拝堂とは違い、目的と機能においてどんな宗

末日聖徒
イエス・キリスト教会の

神殿は、永遠にかかわる
疑問に答えを与えてくれる
神聖な建物です。



近代の神殿の中で
示される教えは、
わたしたちの義務、
すなわち創造主と
隣人に対する義務に
重点が置かれています。

教的建造物とも異なった特徴があります。独特なのは、建物の大きさでも美しさでもありません。建物の中で行われている業なのです。

一般の礼拝堂とは区別して、特定の建物を特定の儀式のために設けることは、目新しいことではありません。それは古代イスラエルでも行われていました。イスラエルの民はいつもは会堂で礼拝していましたが、さらに神聖な場所として、至聖所しせいじよを備えた幕屋を最初に荒れ野で造り、次いで幾つかの神殿を建てました。

その中では特別な儀式が行われ、特定の資格を備えた者だけがその儀式に参加できました。

それは現在も同じです。末日聖徒イエス・キリスト教会では、神殿を奉献する前に一般公開し、内部を見学する機会を提供しています。しかし神殿は、いったん奉献されると主の宮となり、非常に神聖なためにふさわしい教会員しか入ることのできない場所となります。それは、秘密にしておくためではなく、きわめて神聖だからなのです。

神殿の儀式は、わたしたちが属する神の永遠の家族に関することです

わたしたちはこの建物の中で行われる儀式を通して、神の子供であり被造物である人間に対する神の永遠の御心を知るすることができます。そのほとんどは、わたしたちが属する神の永遠の家族と地上の家族に關することであり、結婚の聖約と家族關係の神聖さや永続性に関することです。

神殿の儀式により、地上に生を受けるあらゆる人間が神の子供であり、神が有しておられる特質の幾分かを授けられていることもはっきり教えられます。このような基礎的、根本的な教えを繰り返すことで、儀式を受ける者は有益な影響を受けます。参入者は、美しく心に残る言葉で語られる教義を聞き、全人類は天の御父の子供であり、御父の家族に属する兄弟姉妹であることを理解するのです。

律法学者が「すべてのいましめの中で、どれが第一のものですか」と尋ねたときに、救い主はこう答えられました。「『心をつくし、精神をつくし、思いをつくし、力をつくして、主なるあなたの神を愛せよ。』

第二はこれである、『自分を愛するようにあなたの隣り人を愛せよ。』』（マルコ12：28、30 - 31）

近代の神殿の中で示される教えは、このいちばん根本的なわたしたちの義務、すなわち創造主と隣人に対する義務に重点が置かれています。

そして数々の神聖な儀式は、神の家族というこの気高い思想を詳しく説明したもののなのです。また死すべき体とは対照的に、わたしたちの内なる霊が永遠であることも教えられます。さらに、これらの儀式によって大いなる真理を理解できるだけでなく、神を愛し、天の御父の子供たちになおいっそう隣人愛を示そうという思いに満たされるのです。

人は皆神の子供であるという前提に立つと、人生には神聖な目的があることを理解できるようになります。主の宮では、そのことについても啓示された真理が教えられています。この世での生活は、永遠の旅の一過程です。わたしたちは地上に来る前に神の霊の子供として生活していました。聖文はそれを証しています。エレミヤに対する主の言葉を見てみましょう。「わたしはあなたをまだ母の胎につくらないさきに、あなたを知り、あなたがまだ生れないさきに、あなたを聖別し、あなたを立てて万国の預言者とした。」（エレミヤ1：5）

大切にしている家族関係は次の世でも断ち切られることはありません

わたしたちはこの世の両親の子供として、また家族の一員として生を受けます。両親は、神の子供たちに関する天の御父の永遠の御心を成就するため、神と協力して働きます。だからこそ家族は、この世にあっても永遠にあっても最も重要かつ神聖な制度なのです。



参入者は、
美しく心に残る言葉で
語られる教義を聞き、
全人類は
天の御父の子供であり、
御父の家族に属することを
理解するのです。

わたしたちの理性が
家族のきずなは
死後も続くことを
悟らせてくれるからです。
人の魂が
そう願っているからです。
そして神は
その実現の方法を
啓示してくださいました。
主の宮での
神聖な儀式こそが
それなのです。

神殿で行われることの大半は、家族に関係しています。わたしたちはこの世に生まれる以前に神の子供として存在していました。ちょうどそれと同じように、わたしたちは死後も生き続けます。わたしたちにはこの世で大切にしている満ち足りた人間関係がありますが、その中でも最も意義深く美しいものは家族の中に存在します。このきずなは次の世でも断ち切られることはありません。このような事実を認識することは、神殿の儀式の目的を理解する根本となります。

一人の男性と一人の女性が主の宮の中で結婚すると、二人はこの世だ

けでなく永遠に結ばれます。国の法律によって死が二人を分かつまで結ばれるばかりか、地上で結ばれたものが、神の永遠の神権を通して天でもともに結ばれるのです。こうして結婚した夫婦は、その祝福を受けるにふさわしい生活をするならば、自分たちの関係や子供たちとの関係が死によって終わらず、永遠に続くという確信を神から与えられます。

女性を心から愛した男性、あるいは男性を心から愛した女性で、二人の愛が死後も続くことを願わない人がいるでしょうか。子供を亡くした両親で、次の世で再びわが子を腕に抱く日を願わない人がいるでしょうか。人間の最も貴重な属性は愛であり、それは家族関係の中に最もよく表れます。永遠の命を信じていながら、天におられる神が息子、娘に対して、この愛を示してくださらないのではと思う人がいるでしょうか。そのような人はいないはずです。わたしたちの理性が家族のきずなは死後も続くことを悟らせてくれるからです。人の魂がそう願っているからです。そして神はその実現の方法を啓示してくださいました。主の宮での神聖な儀式こそがそれなのです。



人間の最も貴重な属性は愛であり、それは家族関係の中に最もよく表れます。永遠の命を信じていながら、天におられる神が息子、娘に対して、この愛を示してくださらないのではと思う人がいるでしょうか。

神殿の祝福はすべての人に開かれています

しかし、もしこれらの儀式の祝福が、現在末日聖徒イエス・キリスト教会の会員となっている人だけに限られるとしたら、どれも皆不条理なことに思われるでしょう。しかし実際は、神殿に来て恵みにあずかる機会が、これから先福音を受け入れ、バプテスマを受けて教会に入るすべての人に開かれています。そのため、教会は世界中に大規模な伝道計画を推進し、可能なかぎりこの計画を広げようと努めています。神よりの啓示の下、「あらゆる国民、部族、国語の民、民族」に福音を伝えることは、教会の責任だからです。

しかし、かつて地上に生を受けながら福音を聞く機会のなかった人々が無数にいます。彼らは、主の神殿で得られる祝福を受けられないのでしょうか。

この世を去った人々は、代理を務める生者を通して、まったく同じ儀式を受けることができます。死者のために地上で行われるバプテスマ、

結婚、家族の結び固めなどの儀式を、受け入れるのも拒むのも、霊界にいる当人たちの自由です。主の業に強制はなく、あるのは機会なのです。

神殿内の仕事は、死者に対する生者の愛による仕事です

この代理の仕事は、死者に対する生者のたぐいえない愛による仕事です。そのためには、すでに世を去った人々を見いだし、その身元を明らかにする大がかりな家族歴史の探求が必要です。その探求を援助するために、教会は家族歴史プログラムを作り、世界に類を見ない探求のための設備を整えています。家族歴史の記録保管庫は一般公開され、教会員ではない人々の先祖探求にも役立ってきました。このプログラムは全世界の系図学者から称賛を受け、歴史記録を保護する手段として各国で利用されています。しかしその本来の目的は、先祖の身元を明らかにする資料を教会員に提供して、自分たちが享受している祝福を、亡くなった先祖にもたらすことにあります。



この世を去った人々は、代理を務める生者を通して、福音の儀式を受けることができます。

▲バプテスマフォント
タヒチ・バベテ神殿



確かに神殿は、
あらゆる
建物の中にあつて
異彩を放っています。
それは神殿が
教えの家であり、
聖約と約束の
場所だからです。
わたしたちは聖壇で
創造主なる神の前に
ひざまずき、
永遠の祝福を
約束されます。

教会員はこのように考えています。「自分が妻子を愛して永遠と一緒にいたいと思うなら、亡くなった祖父や曾祖父^{そうそふ}、そしてほかの先祖たちも、同じ永遠の祝福を受ける機会があつてもよいのではないかと」。

神殿では、人生でほんとうに大切な事柄について知る機会が得られます

このようにこれらの神聖な建物は、膨大な働き^{けいけん}の場であり、同時にそれは静かに敬虔に推進されています。それは黙示者ヨハネの記録した質問と返答のあの示現を思い出させてくれます。「『この白い衣を身にまとっている人々は、だれか。また、どこからきたのか。』……

『彼らは大きな患難をとおってきた人たちであつて、その衣を小羊の血で洗い、それを白くしたのである。

それだから彼らは、神の御座の前におり、昼も夜もその聖所で神に仕えているのである。』」(黙示7:13-15)

この聖なる宮に来る人々は、中に入ると白い衣を身にまといます。彼らは皆、地元の教会指導者からふさわしさを認められ、推薦を受けてやつて来ます。彼らは清い心と清い体を持ち、清い衣を身に着けて神の神殿に入るよう求められるのです。

中に入るときは、俗事を後にして、神にかかわる事柄に集中しなくてはなりません。

この礼拝(もしもそのように呼べるとしたら)には報いが伴います。この緊迫した時代に、世を離れて主の宮に入り、そこで静かに神にかかわる永遠の事柄に思いをはせたいと思わない人がいるのでしょうか。この神聖な場所では、ほかのどこからも得られない機会が与えられます。そこでは、人生でほんとうに大切な事柄、すなわち神とわたしたちとの関係や、前世からこの世に続き、さらに再び人々と会える将来へと続くわたしたちの永遠の旅について知り、思いを巡らすことができます。わたしたちは愛する人々や、自分に肉体や精神、霊という受け継ぎをもたらしてくれた遠い先祖たちとも再び会うことができるのです。

神殿でわたしたちは神の永遠の祝福の約束を与えられます

確かに神殿は、あらゆる建物の中にあつて異彩を放っています。それは神殿が教えの家であり、聖約と約束の場所だからです。わたしたちは聖壇で創造主なる神の前にひざまずき、永遠の祝福を約束されます。

▲スウェーデン・ストックホルム神殿
奉献日：1985年7月2日

▶ユタ州マウント神殿
奉献日：1888年5月21日
再奉献日：1985年6月14日



その神聖な約束を受けながら、^{あがな}贖い主、救い主なる御子イエス・キリストを思い、主と交わるのです。主はわたしたち一人一人のために身代わりの犠牲となってくださいました。死者は、自分自身のために働くことができません。わたしたちは神殿で彼らのために、利己心を捨てて奉仕するのです。こうして、わたしたちは神の真の神権の力を通して、最も神聖な人間関係で結ばれます。夫と妻、親と子、家族として時も死も超えたきずなによって結ばれるのです。

この神聖な建物は、末日聖徒が迫害によって容赦なく住む場所を転々と追われたあの暗黒の時代にも、建てられました。窮乏の時代にも繁栄の時代にも建造され、守られてきました。これらの^{しよさん}神殿は、大勢の人々の力強い信仰の所産です。彼らは、生ける神と復活された主、そして預言者と神よりの啓示に対して証を持ち、主の宮でのみ得られる永遠の祝福からもたらされる平安と確信への証を持った人々なのです。

『聖徒の道』1992年6月号、3-8から改変

この神聖な建物は、
窮乏の時代にも
繁栄の時代にも
建造され、守られてきました。
これらの神殿は、
大勢の人々の
力強い信仰の^{しよさん}所産です。
彼らは、
生ける神と復活された主への
^{あかし}証を持った人々なのです。



聖なる神殿

十二使徒定員会会長
ボイド・K・パッカー会長

神殿の中でわたしたちは最も^{あがな}貴い贖いの儀式を受けることができます。

人が神殿へ行きたがる理由は様々です。その外観を見ただけでも、神殿には深遠なる霊的な目的があることが分かります。壁の内側ではなおさらそれが明らかになります。扉の内側へ一歩足を踏み入れれば、そこが「聖きを主に捧ぐ」場所であることを否めません。奉献された神殿に入るとは、主の宮へ入ることなのです。

自らをふさわしく整えた教会員は、神殿で、人類に啓示された最も貴い贖いの儀式を受けることができます。この神聖な式典において、わたしたちは洗われ、油を注がれ、様々な事柄を教えられ、エンダウメントを受け、結び固めの儀式を受けます。

こうして自分自身の祝福を受けた後は、このような祝福を受けることなく世を去った人々のために、儀式を執行できます。神殿の中では、この地上の人々と同様、すでに世を去った人々に対してもこの神聖な儀式が行われます。

神殿の様々な儀式と式典は簡素で美しく、神聖なものです

聖文を注意深く読むなら、主は必ずしもすべての人にすべての事柄を示していらっしゃるのではないことが分かります。聖い事柄について知るには、それなりに必要な資格を備えていなければなりません。神殿の儀式は、そのような資格を持つ人々の間でのみ執り行われる儀式です。

自ら^{あがな}をふさわしく整えた教会員は、
神殿で、人類に啓示された
最も^{あがな}貴い贖いの儀式を
受けることができます。

◀ パナマ・パナマシティー神殿
奉献日：2008年8月10日

ふさわしい人だけが、
神殿に参入できます。
地元のビショップまたは
支部会長には、
皆さんが神殿の儀式を
受ける前に、
個人的なふさわしさ
について質問する
責任があります。

わたしたちは神殿の儀式について、
神殿外では話しません。そう言いま
すと、神殿の儀式に関する事柄はそ
の恵みに浴するに足る選ばれた少数
の人々だけが学び得るものであつ
て、そのほかの人々は決して学べな
いと思われがちですが、実際はまっ
たくその逆です。わたしたちはだれ
もが神殿へ行く資格を持ち、神殿に
入る準備をするようにと、大きな力
を傾けています。神殿に参入した人
は、究極の目的を学んでいます。す
なわち、いつの日か、すべての生者と
死者が福音を聞き、神殿で提供され
ることを受け入れるか拒むかの機会
を与えられます。もしこの機会を失
う人がいるとすれば、それは本人が
自ら拒むからです。

神殿で行われる儀式は、単純明
快なものです。また、美しく神聖な
ものです。そして、準備のできてい
ない人々に施すことがないよう、公に
はされません。神殿に参入するため
の準備とは、好奇心を抱くことでは
ありません。深い関心を寄せることも、

それだけでは準備ではありません。
そうではなく、信仰を持ち、悔い改
め、バプテスマを受け、確認を受け、
ふさわしい生活をし、主の宮に招か
れる賓客にふさわしく成熟し、尊厳
を備えるという基本的なステップを
踏むことなのです。

ふさわしい人が神殿に参入できます

あらゆる面でふさわしく、また資
格を持った人であればだれでも神殿
に入ることができ、神聖な儀式を受
けることができます。

わたしたちは神殿の祝福の価値
や神殿で執り行われる儀式の神聖
さを一度肌で感じると、聖なる神殿
に入るために主がなぜ高い標準を
定められたかという疑いを抱くこと
がなくなります。

神殿に入るためには、有効な推薦
状を持っていなければなりません。
また、その推薦状には教会の適切
な指導者の署名がなければなりま
せん。ふさわしい人だけが、神殿に
参入できます。地元のビショップまた
は支部会長には、皆さんが神殿の儀
式を受ける前に、個人的なふさわし
さについて質問する責任があります。
この面接はとても大切です。なぜな
ら、それは聖任された主の僕^{しもべ}ととも
に皆さんの人生の道程^{どうい}について考え
る機会だからです。皆さんの人生の
道程に何か間違ったことがあれば、
ビショップはそれを正す手助けをし
てくれるでしょう。こうして皆さん
は、自らの信条を表明し、主の承認
を得て神殿に参入するため、ふさわ
しい状態になれるよう助けを受ける
ことができるのです。



神殿に参入するための準備とは、

信仰を持ち、悔い改め、バプテスマを受け、確認を受け、ふさわしい生活をし、

主の宮に招かれる賓客にふさわしく成熟し、尊厳を備えるという基本的なステップを踏むことなのです。

神殿推薦状発行のための面接は、ビショップと推薦状交付を希望する会員だけで行われます。この面接の折に、会員は自らの品行やふさわしさ、そして教会と教会の役員に対する忠実さを問われます。その人は、道徳的に清いこと、知恵の言葉を守っていること、完全に什分の一を納めていること、教会の教えに従って生活していること、教会の教えに反するもろもろのグループと親しい関係を持ったり、同情的な態度を執ったりしていないことを証言しなければなりません。ビショップは面接で話し合った問題については口外してはなりません。これは最も大切な点です。

ビショップの質問に対して然るべき返答をした人は、通常、神殿推薦状を受けるにふさわしい人です。もし推薦状申請者が戒めを守っていなかったり、生活の中で正さなければならない、あるいは解決しなければならぬ問題を抱えていたりした場合には、その人自らが、真に悔い改めたことを証明した後でなければ、神殿推薦状を発行することはできません。

ビショップとの上記のような面接が終わると、ステーク会長とも同様の面接を受け、その後、神殿の儀式を受けられるようになります。

神殿の教えは象徴的です

初めて神殿に参入する場合はもちろんですが、すでに何度も参入している人も、神殿で受ける教えが象徴的なものであることを心に留めておくとい良いでしょう。偉大な教師である主は、象徴という方法を用いて、教えを授けてくださいます。

神殿は、偉大な学校です。学問の家なのです。神殿の中には、霊的に深い事柄を学ぶにふさわしい理想的な雰囲気があります。十二使徒定員会の故ジョン・A・ウイツォー長老は、大学の傑出した学長で、世界に名を知られた学者でしたが、神殿の業に深い畏敬の念を持っていました。彼はこう語っています。

「神殿の儀式では、救いの計画全体が教えられている。時代から時代へ、教会の指導者が語り続けた教えが教えられ、理解し難い問題を明らかにしている。神殿の教えは、ゆがめたりこじつけたりすることなく、偉大な救いの計画に当てはめることができる。エンダウメントは哲学的見地から見ても首尾一貫しており、神殿の儀式の真実性を示す強力な論拠の一つとなっている。加えて、神殿の儀式の概要、さらには福音の計画全体を思うとき、神殿に入って



初めて神殿に参入する場合はもちろんですが、すでに何度も参入している人も、神殿で受ける教えが象徴的なものであることを心に留めておくとい良いでしょう。偉大な教師である主は、象徴という方法を用いて、教えを授けてくださいます。



光を浴びて
闇くらやみの中にそびえ立つ
主の宮は、
霊くらやみの暗闇に
深く沈んでいくこの世に
立てられた
イエス・キリストの
福音の力と
靈感の象徴です。

礼拝することは、福音の体系全体を、心を新たにして見渡す非常に良い方法である。】(“Temple Worship,” *Utah Genealogical and Historical Magazine*, 1921年4月号, 58)

神殿で教えられることが象徴的なものであることを心に留めて神殿に行くならば、必ずやビジョンは広がり、多少なりとも高められたという気持ちを楽しみ、霊的な事柄にかかわる知識を増し加えられるでしょう。神殿の教えは素晴らしいものです。人の霊を鼓舞するものです。偉大な教師である主は、絶えずたとえを用いて弟子たちを教えられました。少し分かりにくい事柄については、象徴を用いて話されました。

神殿自体、一つの象徴です。夜、全景を照明で彩られた神殿を見たことのある方はお分かりでしょうが、何と心を打つ光景でしょう。光を浴びて闇くらやみの中にそびえ立つ主の宮は、霊くらやみの暗闇に深く沈んでいくこの世に立てられたイエス・キリストの福音の力と靈感の象徴です。

神殿に入ったら、普段の服を脱いで白い神殿着を着ます。着替えは更衣室でしますが、更衣室にはロッカーと着替えのための場所があり、終始だれにも見られることなく着替えをすることができます。神殿では、何事も慎重な状態に保たれるように考慮されています。ロッカーで着替えを済ませたら、それまで着ていた服と一緒に、世の煩いや関心事、娯楽なども脱ぎ捨てることになります。そして白い装いで更衣室を

出ると、あなたと同じように白い服を着た周囲の人々と一つになったと感じることでしょう。

神殿結婚は神殿の儀式の中で究極のものです

神殿結婚を望んでいる人々は、そこで行われる事柄を知りたいと思うでしょう。結び固め(結婚)の儀式の言葉を神殿の外で言うてはいけません。部屋の美しさや静かで穏やかな雰囲気、それにそこで行われた神聖な儀式に立ち会って心の清められる思いがしたことなどを話すのはかまいません。

聖壇にひざまずいて結び固めの儀式を受ける前に、儀式執行者はなむこは花嫁花婿に少し話をする事ができます。例えば、次のような話です。

「今日は御二人の結婚の日です。きっと胸がいっぱいでしょう。神殿は、このような儀式を執り行う聖なる場所として建てられたのです。わたしたちは、この世に在るのではありません。ここには世のものの力は及びませんし、世のものはここで執り行われる事柄に何の力も及ぼすことができません。わたしたちは世から離れて、主の神殿にやってきました。今日この日は、御二人の生涯の中で最も大切な日となるでしょう。

あなたがたは、あなたがたの霊の宿る肉の幕屋を準備して下さった両親に招かれて、この世に生まれ出て来られました。そして、バプテスマを受けました。聖なる儀式であるバプテスマは、罪の清め、死と復活、

▲日本東京神殿
奉献日:1980年10月27日

神殿で教えられることが象徴的なものであることを心に留めて神殿に行くならば、必ずやビジョンは広がり、少しなりとも高められたという気持ちを味わい、霊的な事柄にかかわる知識を増し加えられるでしょう。

そして新たな生命を得ることの象徴です。バプテスマには、悔い改めと罪の赦しゆるが伴います。主の晩餐ばんさんである聖餐を取る時にはバプテスマのときに交わした聖約を思い起こしますが、その聖約に忠実であれば、罪の汚れから離れた状態を保ち続けることができます。

花婿は、神権者として聖任されています。まずアロン神権を授けられ、たぶん、執事、教師、祭司のすべての段階を踏んでこられたことと思います。それから、メルキゼデク神権を受けるにふさわしいと認められる日がやって来ました。アロン神権よりも高いメルキゼデク神権は、神の最も聖なる位に従う神権、すなわち神の御子の位に従う聖なる神権です（アルマ13：18；ヒラマン8：18；教義と聖約107：2-4参照）。あなたは、この神権の中の一つの職を与えられ、現在は長老です。

御二人は、すでにエンダウメントを受けられました。エンダウメントの儀式の中で、あなたがたは永遠の可能性を賦与されました。しかし、これはある意味で、この世から永遠にわたって夫婦となるために聖壇に進み出て、結び固めを受ける準備にすぎません。あなたがたは今や家族を構成し、自由に生命の創造に携わ

ることができます。そして、献身と犠牲を通して子供たちをこの世に迎え、はぐくみ、この世にいる間安全に生活できるように助け、あなたがた御二人がこの神殿に入られたように、いつの日か子供たちも神殿に入って、神殿の聖なる諸儀式を受ける光景をその目で見るでしょう。

あなたがたは神殿に入るにふさわしい者とされ、自らの意志によって、この場に足を運ばれました。あなたがたは、お互いに結婚の聖約を受け入れるという重大な責任を負っており、この責任を果たすならば、限らない祝福を受けるでしょう。」

結び固めの力は地上と天をつなぐ

歴史的な面と教義的な面の双方から神殿の業について理解したければ、結び固めの力とは何かを理解しなければなりません。また、少なくとも、なぜ結び固めを行う権能を持つ「鍵かぎ」がそれほど重大なのかを考えてみなければなりません。

「イエスがピリポ・カイザリヤの地方に行かれたとき、弟子たちに尋ねて言われた、『人々は人の子をだれと言っているか。』……

シモン・ペテロが答えて言った、『あなたこそ、生ける神の子キリストです。』



福音のすべての儀式は、ある意味で、この世から永遠にわたって夫婦となるために聖壇に進み出て、結び固めを受ける準備にすぎません。

神殿の業と、
それを支える家族歴史の
探究の仕事ほど、
この教会にとって
大きな守りとなるものは
ありません。
またいかなる業も
この業ほどに
人の霊を磨き、
人に力を与えることは
できません。
加えて、この業ほど
高い標準が要求される
業もありません。

すると、イエスは彼にむかって言われた、『バルヨナ・シモン、あなたはさいわいである。あなたにこの事をあらわしたのは、血肉ではなく、天にいますわたしの父である。

そこで、わたしもあなたに言う。あなたはペテロである。そして、わたしはこの岩の上にわたしの教会を建てよう。黄泉の力もそれに打ち勝つことはない。

わたしは、あなたに天国のかぎを授けよう。そして、あなたが地上でつなぐことは、天でもつなぐれ、あなたが地上で解くことは天でも解かれるであろう。』(マタイ 16:13, 16-19)

ペテロは、この鍵を持つことになりました。結び固めの力、すなわち、地上でつなぎ、結び固め、解く力を持つ権能であり、天でも同様にする権能でした。このもろもろの鍵は

大管長、すなわち預言者、聖見者、啓示者が保持します。この神聖な結び固めの力が、今この教会にあります。この権能の意味を理解している人にとって、この権能ほど神聖なものはありません。また、この権能ほど大切に保持されてきたものはほかにありません。いつの時代においても、地上でこの結び固めの力を授けられた人は、比較的少数でした。現在では各神殿に結び固めの力を持つ兄弟たちがいますが、それでもそう多くはいません。そしてこの力は、預言者、聖見者、啓示者、末日聖徒イエス・キリスト教会の大管長からしか受けることができません。

預言者ジョセフ・スミスは、度々次のような質問を受けたと語りました。『このすべての儀式を受けなければ、救われないのでしょうか。』わたしはよくこう答えたものだった。



『そのとおり、完全な救いを得ることはできない』と。イエスはこう言われた。『わたしの父の家には、すまいがたくさんある。もしなかったならば、わたしはそう言うておいたであろう。あなたがたのために、場所を用意しに行くのだから。』(ヨハネ14:2)ここに書かれている『家』という言葉は、王国という言葉に置き換えられる。最高の家へ昇栄する人はだれであれ、日の栄えの律法、しかもそのすべてに従わなければならない。」(History of the Church, 第6巻, 184)

神殿の業は霊的な力の源です

神殿は、教会の霊的な強さの中心です。敵は、教会全体やわたしたち個人が聖なる靈感あふれる業に参加できないようにしようとするでしょう。神殿の業は末日聖徒や教会全体に霊的な力を非常に豊かに与えるため、反対する力も強く働きます。

ユタ州ローガン神殿の定礎式するとき、ジョージ・Q・キャノン管長は、このような話をしました。

「神殿建設のための礎石が置かれるとき、そして主が主の聖なる神権に啓示された位に従って神殿が完成するときにはいつも、地上のサタンの力は弱まり、神と神を敬う力が増す。また、わたしたちのために神の力によって諸天が揺れ動き、永遠の神と神の御前に住む諸天使の祝福をもたらす。」(“The Logan Temple,” *Millennial Star*, 1877年11月12日付, 743)

悩み苦しむとき、また重大な決断に迫られるとき、教会員は神殿に参入できます。神殿は、心配事を持って行くのにとっても良い場所です。神殿の中では、霊的な目を持てるからです。儀式を受けている間中、わたしたちはこの世から抜け出しています。

問題を抱えて気が転倒していることもあると思います。そのような場合は一時にどっと不平不満がわき上がってきて、何もはっきり考えられず、見ることもできないものです。神殿では、混乱する心の中に舞い上がったほこりも地面に降り、霧やかすみもうそのように晴れて、混乱した心のままでは到底見いだせなかった道も、善悪の区別もつかなかった物事も、はっきりと「見る」ことができます。

神殿の神聖な儀式に出席するとき、主はわたしたちを祝福してくださるでしょう。神殿での奉仕の業に注がれる祝福には限りがありません。主はわたしたちに、この世的な面でも霊的な面でも関心を向けてくださるでしょう。

神殿の業は、わたしたちにとって盾となり守りとなります

神殿の業と、それを支える家族歴史の探究の仕事ほど、この教会にとって大きな守りとなるものはありません。またいかなる業もこの業ほどに人の霊を磨き、人に力を与えることはできません。加えて、この業ほど高い標準が要求される業もありません。

神殿の業はわたしたち個人にとっても、全体にとっても盾となり、守りとなります。

どうぞ神殿に参入してください。そして、祝福を受けてください。神殿の業は、聖なる業なのです。

『聖なる神殿に参入する備え』(冊子)



「神殿建設のために礎石が置かれるとき、そして主が主の聖なる神権に啓示された位に従って神殿が完成するときにはいつも、地上のサタンの力は弱まり、神と神を敬う力が増す。」
——ジョージ・Q・キャノン管長

▲ブラジル・クリチエーバ神殿
奉献日：2008年6月1日



神殿に心を向ける民

末日聖徒イエス・キリスト教会 第14代大管長
ハワード・W・ハンター大管長（1907-1995年）

神殿は教会員にとって偉大な象徴です

自分自身の祝福のために神殿に参入する特権を受けるのは、すばらしいことです。そして、自分自身の祝福のために神殿に参入してから後に、すでに世を去った人々のために働きをなす特権も実にすばらしいものです。神殿活動のこの部分は、無私の働きによってなされます。しかし、ほかの人のためにこの神殿活動を行うと、わたしたち自身のもとに必ず祝福が返ってきます。ですから、主がわたしたちに神殿に心を向ける民となるよう望んでおられるのは驚くに当たりません。

主は神殿が教会員にとって偉大な象徴であることを啓示の中で明らかにされました。カートランドで聖徒たちが神殿を建設する準備をしていたとき、主は預言者ジョセフ・スミス

を通して一つの勧告をお与えになりました。その勧告から主がわたしたちに求めておられる態度と義にかなった行いについて考えてください。この勧告は現在も生きています。

「あなたがた自らを組織しなさい。すべての必要なものを用意しなさい。そして、一つの家、すなわち祈りの家、断食の家、信仰の家、学びの家、栄光の家、秩序の家、神の家を建てなさい。」（教義と聖約 88：119）わたしたちはこのような姿勢と行動を望み、求めているのでしょうか。

教会におけるわたしたちのあらゆる努力は、聖なる神殿に通じています

福音を宣べ伝え、聖徒を完全な者とし、死者を贖うためにわたしたちがささげるあらゆる努力は聖なる神殿に通じているのです。それである

子供たちの
目に触れるように、

家の中に神殿の写真を
飾ってください。

そして彼らに、

主の宮が建てられる

目的について教えてください。

◀ドイツ・フライベルク神殿
奉献日：1985年6月29日
再奉献日：2002年9月7日



カートランドで
聖徒たちが
神殿を建設する
準備をしていたとき、
主は彼らに
こう言われました。
「一つの家、すなわち
祈りの家、断食の家、
信仰の家、学びの家、
栄光の家、秩序の家、
神の家を建てなさい。」

からこそ、神殿の儀式は絶対に必要であり、わたしたちは神殿の儀式なしに神の前に戻るができないのです。

主はまことに、主の民が神殿に心に向ける民となるよう望んでおられます。わたしはすべての教会員が神殿に参入するにふさわしくなるよう心の底から望んでいます。また、すべての成人会員が神殿推薦状を受けるにふさわしく、たとえ距離的な問題ですぐには神殿に参入できなくても、あるいはしばしば参入できなくても、現在有効な神殿推薦状を所持することを望みます。

神殿は主に^{きよ}聖さをささげる所であり、わたしたちにとって聖なる場所です

わたしたちは神殿に参入し、神殿を愛する民となろうではありませんか。時間と金銭と個人的な状況が許すかぎり、しばしば神殿に足を運ぼう^{しんぜき}ではありませんか。亡くなった親戚のためだけでなく、神殿の礼拝によって個人の祝福を受け、この神聖かつ聖別された建物の中で与えられる聖めと守りを受けるために参入しようではありませんか。神殿は美しい場所です。啓示を受ける場所であり、平安を受ける場所です。そこは主の宮です。主に聖さをささげる所です。わたしたちにとって聖なる場所です。

▲カートランド神殿
奉献日：1836年3月27日

▶ユタ州ローガン神殿
奉献日：1884年5月17日
再奉献日：1979年3月13日

神殿で味わう霊的な思いを子供たちに伝えてください。より熱心に、またもっと和やかな雰囲気の中で、主の宮が建てられる目的について、話しても差し障りのない事柄を子供たちに教えるようにしましょう。子供たちの目に触れるように、家の中に神殿の写真を飾ってください。そして彼らに、主の宮が建てられる目的について教えてください。神殿の祝福を受けるふさわしさを身に付け、神殿に参入する計画を、幼いうちから立てさせてください。

わたしたちがふさわしい状態で神殿に行くとき、主は喜ばれます

青少年がふさわしい状態で神殿に行き、生きている間にバプテスマを受ける機会のなかった人々のために身代わりのバプテスマを受けることを主は喜ばれます。わたしたちが主と自分との間で聖約を交わし、また夫婦として、家族として結び固めを受けるために、ふさわしい状態で神殿に参入することを主は喜ばれます。さらに、これらの救いの儀式を死者に代わって受けるために、ふさわしく神殿に参入することを主は喜ばれます。死者の多くは彼らのために儀式が執行されるのを今や遅しと待っているのです。

わたしたちにとって神殿を真の意味での象徴とするには、そうしたいと望まなければなりません。わたしたちは神殿に入るにふさわしく生活しなければなりません。主の戒めを守らなければなりません。主に倣って生活し、主の教えと模範を自分に

とって至高の模範とすることができれば、神殿に参入するためのふさわしさを身に付け、人生のあらゆる面で首尾一貫した誠実な生活を送ることはさほど難しいものではなくなります。なぜならば、わたしたちはただ一つの神聖な標準に基づいて行動し、一つの標準だけを信じると心に決めているからです。家庭にいても、あるいは職場にあっても、学校にいても、あるいは学校を卒業してから長い歳月が過ぎ去っていても、まったく一人で行動していても、あるいは多くの人々と交わっていても、わたしたちの歩むべき道や標準は明らかとなるでしょう。

原則を忠実に守り、教えに従って高潔さと信仰をもって生活する力をつけること、これが最も大切なのです。個人の生活において、家庭において、家族の間において、ほかの人々に出会い、影響を与えるあらゆる場所において、真の原則から決して離れないこと、神がわたしたちに最終的に要求しておられるのはこの献身です。そのためには、神が戒めの中で与えられ、わたしたちが真実であると知っている原則を心の底から、永遠に大切にするという決意が必要です。主の原則に誠を尽くし、忠実であるならば、わたしたちは常にふさわしい状態で神殿に参入することができます。そして主と主の聖なる神殿はわたしたちが主の弟子であることの大きいなる象徴となることでしょう。

【聖徒の道】1994年11月号2-7から改作



わたしたちは神殿に参入し、
神殿を愛する民と
なろうではありませんか。
時間と金銭と
個人的な状況が許すかぎり、
しばしば神殿に
足を運ぼうではありませんか。



神殿の祝福のために 備える

十二使徒定員会

ラッセル・M・ネルソン長老

神殿が人々のために備えられているように、人々も神殿のために自分を備える必要がある

それぞれの神殿には、「^{きよ}聖きを主に^{ささ}捧ぐ」¹という言葉が刻まれています。その言葉は、神殿とその目的がともに神聖であることを示しています。神殿に参入する人々も清さを身に付けていなければなりません。² 神殿が人々のために備えられているように、人々も神殿のために自分を備える必要があります。

神殿はほかの礼拝の家とは異なります。教会堂とは違い、神殿は安息日には閉館します。人々がその聖なる日に教会に集い、家族とともに過ごせるようにするためです。そのほかの週日には、神殿は神聖な儀式を行うために開館します。神殿は文字どおり主の宮であり、永遠にわたる重要性を持つ儀式が執行されます。それらの儀式として、バプテスマ、

結婚、エンダウメント、結び固めなどがあります。

それぞれの神殿は、神を信じるわたしたちの信仰を象徴するものであり、また死後の生活を信じるわたしたちの信仰を証拠立てるものです。教会におけるあらゆる活動、あらゆるレッスン、一步一步の進歩が、神殿を目指しています。福音を^の宣べ伝え、聖徒を完全な者とし、死者を^{あがな}贖うというわたしたちの努力はすべて、聖なる神殿に至るものです。神殿の儀式はきわめて重要です。それがなければ、わたしたちは神の栄光に戻れることはできません。

神殿のそれぞれの儀式は厳粛な約束を交わす行為である

神殿で、わたしたちはエンダウメントを受けます。エンダウメントは、文字どおりには、^{たまもの}賜物という意味です。

それぞれの神殿は、
神を信じる

わたしたちの信仰を
象徴するものであり、
また死後の生活を信じる
わたしたちの信仰を
証拠立てるものです。
教会におけるあらゆる活動、
あらゆるレッスン、
一步一步の進歩が、
神殿を目指しています。

◀ テキサス州ヒューストン神殿
奉献日：2000年8月26日



ブリガム・ヤング大管長は、次のように語っています。「あなたにとってエンダウメントとは、主の宮において必要なすべての儀式を受けることであり、あなたがこの世を去った後、番人として立つ天使たちの前を通って、御父のもとに帰り、……永遠の昇栄を得られるようにするものです。」

わたしたちはその霊的な意味と、この賜物を受けるときに交わす神聖な聖約と義務を守ることの重要性を理解する必要があります。それぞれの「神殿の儀式は、受ければそれで済むという儀式ではなく、厳粛な約束を交わす行為です。」³

神殿のエンダウメントは啓示によって与えられました。したがって、清い心で熱心に求めるときに、啓示によって最もよく理解できます。ブリガム・ヤング大管長は、次のように語っています。「あなたにとってエンダウメントとは、主の宮において必要なすべての儀式を受けることであり、あなたがこの世を去った後、番人として立つ天使たちの前を通って、御父のもとに帰り、……永遠の昇栄を得られるようにするものです。」⁴

神殿で交わした神聖な聖約に従う人には、永遠の命を得る資格が与えられる

それぞれの神殿で、神権の結び固めの権能が行使されます。ゴードン・B・ヒンクレー大管長は、次のように述べています。「王も、大統領も、わたしたちが属する世のいかなる組織の役員も、墓の向こうの事柄を司る権限を持ってはいません。すべての人は死の及ぼす力の前に無力です。しかし、結び固めの権能を受けた非常に謙虚で、善良で、義にかなった大祭司が地上において結ぶことは、天でも結ばれるのです。」⁵

神権が永遠であり、初めもなく終わりもないように、その神権の権能も永遠です。⁶ そのため、神権の儀式と聖約もまた時を超越します。天使モロナイから預言者ジョセフ・スミスに与えられた最初の啓示は、

この神権の権能に関するものでした。⁷ 神殿に関して預言者に与えられたその後の指示の中で、主は次のように告げておられます。

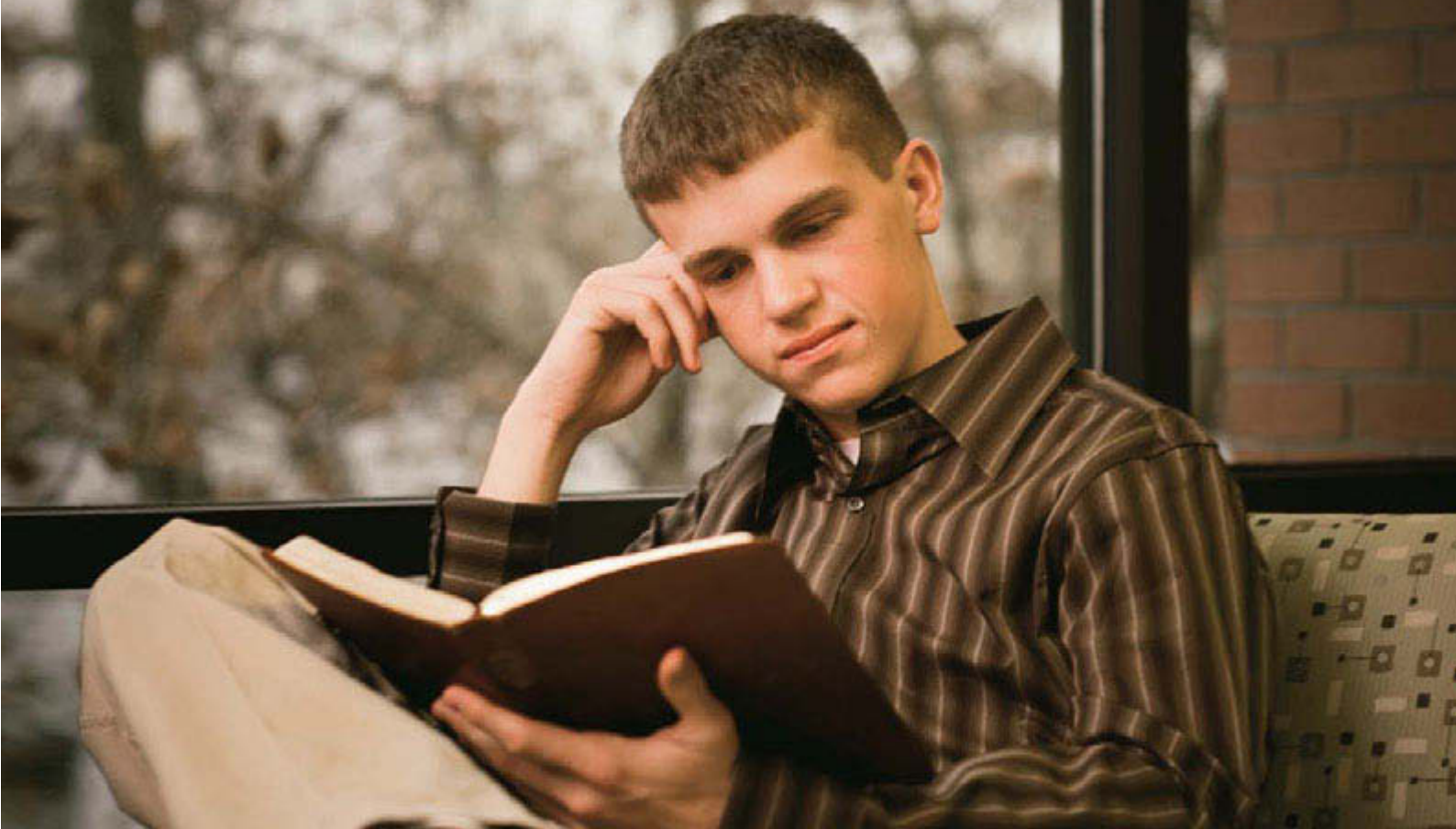
「わたしの名のためにこの家を建てて、わたしがそこで民に儀式を示すことができるようにしなさい。

わたしは創世の前から隠されてきたこと、すなわち時満ちる神権時代に関することを、わたしの教会に示そうと思うからである。」⁸

わたしたちはその神権時代に生活しています。まさに預言されたとおりに、神殿、儀式、聖約、エンダウメント、また結び固めが回復されました。神殿の儀式によって主との和解が成立し、家族は永遠に結び固められるのです。神殿で交わした神聖な聖約に従う人には、永遠の命、すなわち人に与えられる神のあらゆる賜物の中で最大のものを得る資格が与えられます。⁹

進んでよく備える人は神殿に参入できる

神殿は神聖であるため、主は、神殿を汚すことのないよう望んでおられます。その特権にあずかるために進んでよく備える人は、だれでも参入することができます。備えの概念は努力を要するほかの分野にも広く及ぶものです。自分の少年時代を思い出します。わたしは両親に、大学に進学したいという気持ちを伝えました。すると両親は、それまで勉学に励み、大学への入学に必要な条件をすべて満たして初めてそれが可能になると答えました。同様に、わたしたちは神殿に参入する資格を満たさなければなりません。肉体的に、



知的に、また靈的に備えるのです。推薦状の発行を願う人は皆、個人ごとに適格性を判定されます。

神権の権能の鍵と責任を持って、いる人々が、神殿推薦状の面接を行うことによって、わたしたちの準備を手伝ってくれます。これらの指導者は、わたしたちを心にかけて、また神殿に参入する備えができていのかどうか自分で判断できるように助けてくれます。また、彼らは主を愛しており、「清くないものが〔主〕の宮に入るのを許されてこれを汚すということが決して〔ない〕」ようにします。¹⁰ このように、これらの面接は報告の場として用いられます。

あなたは神殿推薦状を受けるためにどのような備えをしていますか。ビショップリックに、また両親や家族、ステーク会長会、教師、定員会アドバイザーに助言を求めることができます。条件は簡単です。簡潔に言えば、必要なのは、その宮の主の戒めを守ることです。主は標準を定めておられます。わたしたちはその御方の客として神殿に参入するのです。

主は、すべての成人会員が有効な神殿推薦状を受けるにふさわしくあり、それを保持するならば、喜ばれることでしょう。「〔ビショップリックの一員〕とステーク会長会の一員から神殿推薦状のための面接を受けることは、貴重な経験です。ある意味で、この面接は、大いなる裁き主の前に立って審問を受けるときに

わたしたちは
神殿に参入する資格を
満たさなければなりません。
肉体的に、知的に、
また靈的に備えるのです。



神殿に参入するにふさわしい服装をすることで肉体的に備えるのです。

神殿は普段着で行く所ではありません。

聖なる神殿に参入しようとする人々は、特に肉体を尊ばなければなりません。

備えて行われる、本番さながらの大切なリハーサルのようなものと考えられます。」¹¹

神殿参入するために肉体的に備える

さて、神殿推薦状を手にしたあなたは、さらなる備えをする準備ができています。神殿に参入するにふさわしい服装をすることで肉体的に備えるのです。神殿は普段着で行く所ではありません。末日の預言者たちは自分の肉体を尊ぶことを強調しています。聖なる神殿に参入しようとする人々は、特に肉体を尊ばなければなりません。¹²

神殿内では、すべての人が汚れない白い衣服を着ます。「白い衣服が象徴する清さは同様に、神が一つの清い民を持たれるということをおわたしたちに思い起こさせます。」¹³ 年齢、国籍、言語は、また教会における職さえも、第二義的なものです。わたしはこれまで、大管長が参加するエンダウメントに何度も同席してきました。室内の人は皆、大管長に対するのと同様の敬意を払われていました。全員が並んで座り、主の目に等しく見なされます。平等の服装で

行われる神殿参入は、「神は人をかたよりみないかた」¹⁴であることを思い起こさせます。

花嫁と花婿^{はなむこ}は、この世においても永遠にわたっても結婚するために神殿に参入します。神殿内で、花嫁は白い衣服を着ます。長袖で、デザインと布地が慎み深く、過度な装飾のないものです。男性はタキシードや礼服を着ません。現在十二使徒定員委員会会長であるボイド・K・パッカー会長は、次のように述べています。「体を洗い、高価でなくても清潔なものをお身に付けて行けば、主は喜んでくださるでしょう。聖餐会や公式の場に出られる服装をすればよいのです。」¹⁵

神殿の服装について言えば、母親と祖母は子供と孫に大きな、良い影響を与えることができます。技能と状況に応じて、母親と祖母は家族に目に見える動機づけをすることができます。母からの贈り物である手刺しの刺しゅうが施されたハンカチや、そのほか神殿で身に付けるものは、愛する子供や孫に、大事にしたという強い気持ちを抱かせることができます。



神殿内では、
すべての人が
汚れない白い衣服を着ます。
平等の服装で行われる
神殿参入は、
「神は人を
かたよりみないかた」
であることを
思い起こさせます。

▲南アフリカ・ヨハネスバーグ神殿
奉献日：1985年8月24日



適切な神殿の
服装に関して、
母親と祖母は子供と孫に
大きな、良い影響を
与えることができます。

神殿ガーメントは決意の維持を象徴する

神殿ガーメントを着用することは象徴的に大きな意味があり、それは決意の維持を表します。救い主が最後まで堪え忍ぶ能力の模範を示してくださったように、ガーメントを着用することは、救い主と、救い主との間に交わした永遠の聖約を信じる信仰を持ち続けていることを示す一つの方法です。

大管長会はこの件について教会に手紙を書き送っています。それは次のとおりです。

「教会員の中には、聖なるエンダウメントの趣旨に従ってガーメントを身

に着けるといふ、神殿の中で交わした聖約を十分に理解していないような行動を取る人が度々見受けられます。

神殿の中でガーメントを着用した教会員は、生涯それを身に着けるといふ聖約を交わしています。この聖約は、昼夜を問わずガーメントを肌着として身に着けるといふ意味に解釈されています。……守りと祝福が与えられるという約束は、忠実にまたふさわしい態度で聖約を守る人々に与えられます。

基本原則は、ガーメントを常に身に着け、やむを得ない場合以外は脱がない、というものです。したがって、庭仕事をしたり、家庭で水着や慎み

のない服装でくつろいだりするために、ガーメントの一部または全部を脱ぐようなことをしてはなりません。また、通常の衣服の下にガーメントを正しく着用して行うことのできる普通のレクリエーション活動に、わざわざガーメントを脱いで参加してはなりません。水泳のように、ガーメントを脱ぐ必要がある場合でも、終わり次第できるだけ早くに再び着用してください。

この聖約の中には体を適度に覆うという慎みの原則が含まれており、身に着ける衣服はすべてこの標準に合ったものでなければなりません。エンダウメントを受けた教会員は、主と交わした神聖な聖約のしるしとして、また、誘惑と悪から身を守るものとしてガーメントを着用します。ガーメントをどのように着用するかにより、各自がどれほど強く救い主に従う決意をしているかが分かります。」¹⁶

神殿参入するために知的に、また霊的に備える

肉体的な備えのほかに、わたしたちは知的に、また霊的に備える必要があります。神殿の儀式と聖約は神聖なものですから、神殿内での出来事について神殿の外で話さないという絶対的な義務を負っています。神聖な事柄には、相応の配慮が必要です。

この学びの家で、わたしたちは主の方法により教えを受けます。主の方法は人の方法とは異なっています。¹⁷

その教え方がわたしたちのよく知っている教育界で使用されている方法とは異なっていると、驚くには当たりません。神殿の儀式と聖約は、アダムとエバの時代から福音に不可欠の部分でした。昔は深遠な真理を教えるために数々の象徴が使われました。そして、この教授法が今日、神殿こんいちで使われています。

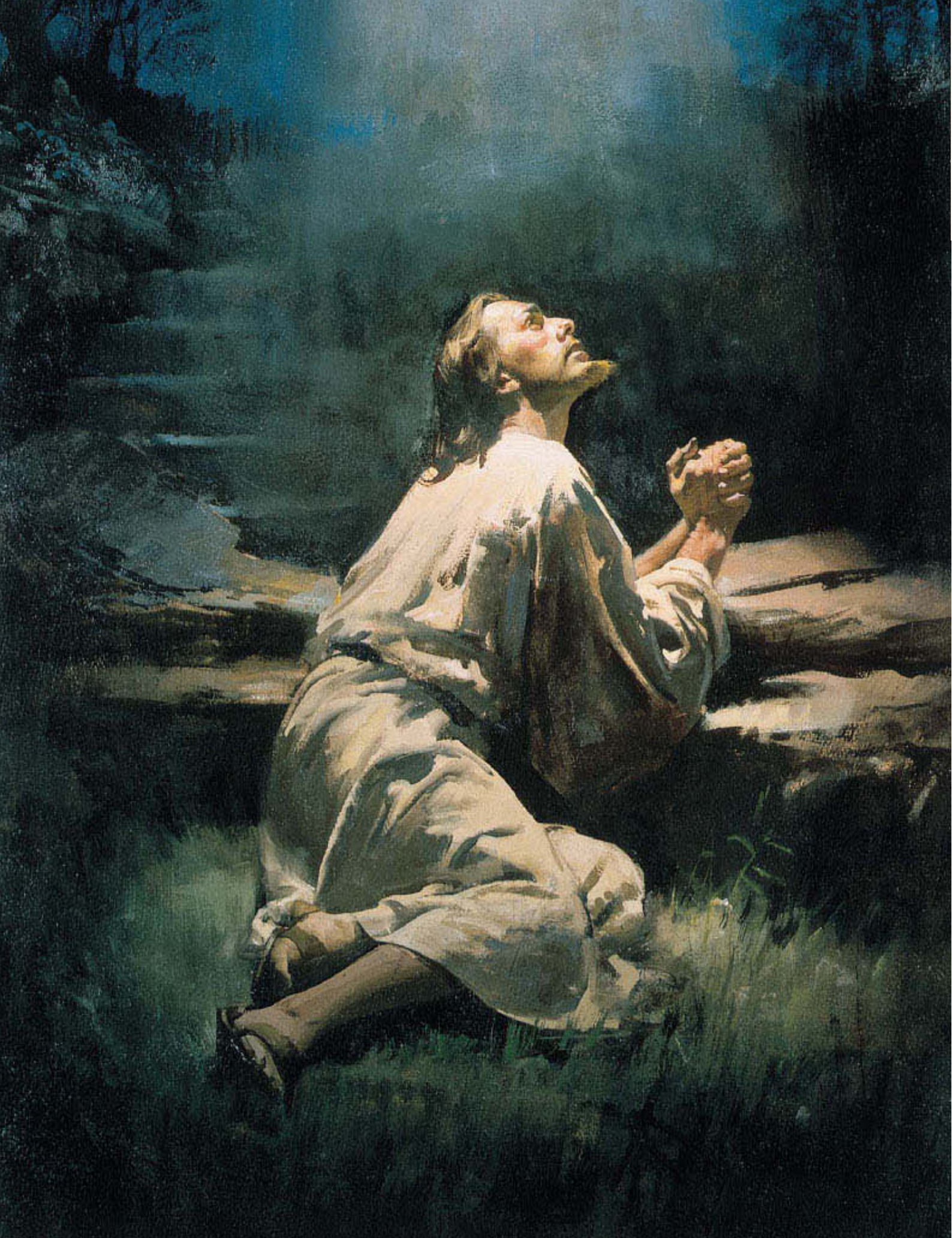
したがって、わたしたちは神殿で示される象徴について深く考え、またそれぞれの象徴が意味する重要な事実に目を向ける必要があります。¹⁸「神殿の儀式は生涯にわたる実りある熟考と修養を促すために、象徴的趣意にあふれています。」¹⁹ 神殿の教えは実に簡潔であり、ひたすら美しいものです。それは教育を受ける機会のほとんどなかった人々にも理解できるものでありながら、教養のある人の知性を刺激します。

初めて神殿に参入する会員は、『聖句ガイド』の神殿に関する項を読むようにしてください。「油注ぎ」「犠牲」「神殿；主の宮」「聖約（契約）」などです。また、出エジプト記第26章から第29章とレビ記第8章も読むとよいでしょう。旧約聖書や高価な真珠のモーセ書とアブラハム書は、神殿活動が昔に行われていたこと、またその儀式が永続するものであることを強調しています。



この学びの家で、
わたしたちは
主の方法により
教えを受けます。
主の方法は人の方法とは
異なっています。
神殿の教えは
実に簡潔であり、
ひたすら美しいものです。

▲フィンランド・ヘルシンキ神殿
奉献日：2006年10月22日



無限の贖罪しよぐさいがなければ、全人類はまったく失われてしまうでしょう。
神殿の儀式と聖約は、贖罪あがなのもたらす贖いの力について教えています。

神と交わした聖約を守ることにより、守りと力を得る

神殿に備えるとき、特に心に留めておく必要のあることが二つあります。第1は聖約です。聖約は約束であることを覚えておく必要があります。神と交わした聖約は、わたしたちを拘束するものではなく、守ってくれるものと見なすべきです。神との聖約は、わたしたちを危険から守ってくれます。

この考え方は新しいものではありません。例えば、飲料水の水質が悪ければ、その水をろ過します。それと同じように、神聖な聖約はわたしたちを害悪みごころから守ります。神の御心に添わないものをすべて拒む²⁰という選びをするとき、わたしたちは価値のあるものを決して失わず、永遠の命を得る人々だけが知ることのできる栄光を得ます。神殿の聖約を守ることは、制約を受けることではなく、力を得ることです。それは、自分自身の展望や能力を超えてわたしたちを高めてくれます。それは、ぬかるんだ原野をとほとほと歩くことと、超音速ジェット機で空高く舞い上がるくらい違います。神との聖約を守ることは、守りと力の両方を得ることです。

知的な備えについて強調すべき第2の概念は、贖罪しよぐさいです。イエスキリストの贖罪は、人類史の中心に

位置する行為です。それは救いの計画の核を成すものです。無限の贖罪がなければ、全人類はまったく失われてしまうでしょう。神殿の儀式と聖約は、贖罪のもたらす贖いの力について教えています。

永遠の命は神殿で交わした聖約に従うことによって得られる

神殿での奉仕は、現世でも永遠においてもわたしたちに祝福をもたらします。十二使徒定員会のニール・A・マックスウェル長老は、次のように述べています。「神殿活動は、この世からの逃避ではなく、この世を改善する必要性を再認識するとともに、来るべき世という、より良い別の世界に向けて自分を備えるものなのです。このように、主の宮に行くことはこの世にあってこの世のものとならないための手段となります。」²¹

わたしたちは現世で誠実かつ忠実であれば、永遠の命を得ることができます。不死不滅とは永遠に生きることです。永遠の命には、単に不死不滅であること以上の意味があります。永遠の命とは、最高の天における昇栄を得て、家族単位で生活することです。神は、大いなる業の声明として、「人の不死不滅と永遠の命をもたらすこと」が「わたしの業であり、わたしの栄光である」²²と宣言されました。神からの不死不滅の賜物は、無条件で与えられるもの、



永遠の結び固めという祝福を受けると、わたしたちは、神の偉大な幸福の計画の必要な部分として死と向かい合うことができます。

「神権の力により、夫婦は永遠に結び固められる、すなわち永遠の夫婦となることができる。また子供たちは永遠に両親に結び固められる。このようにして家族のきずなは永遠に続くものとなり、死が家族を隔ててしまうことはなくなった。」——
ジョセフ・フィールディング・スミス大管長

すなわち全人類への無償の救いの賜物です。わたしたちは、神の聖なる神殿で交わした聖約に従い、儀式を受けることにより、永遠の命すなわち昇栄の可能性を手に入れることができるのです。

神殿の祝福は、愛する人が亡くなって家族の輪から取り去られるとき、非常に意味の深いものとなります。別離の期間がほんのひとつきにすぎないのを知ること、普通の理解を超える平安をもたらされます。²³ ジョセフ・フィールディング・スミス大管長は、次のように述べています。

「エリヤが与えたこの神権の力により、夫婦は永遠に結び固められる、すなわち永遠の夫婦となることができる。また子供たちは永遠に両親に結び固められる。このようにして家族のきずなは永遠に続くものとなり、死が家族を隔ててしまうことはなくなった。」²⁴ 永遠の結び固めという祝福を受けると、わたしたちは、神の偉大な幸福の計画²⁵の必要な部分として死と向かい合うことができます。

神殿で得る永遠の展望は、人生の試練に耐える強さを与えてくれる

永遠の展望は、交わした聖約を完全に守ろうとする気持ちを保つのに役立ちます。パッカー会長は、次のように強調しています。「儀式と聖約は、神のみもとに行くための資格証明書になります。ふさわしくなってそれを受けることは、生涯の目標であり、最後までそれを守ることは、この世におけるチャレンジです。」²⁶

神殿の儀式は、自分の永遠の栄光に関係するだけでなく、亡くなった先祖の栄光にも関係します。「彼らの救いはわたしたちの救いにとって必要であり、不可欠だからです。……わたしたちなしには彼らが完全な者とされることはない……ように、わたしたちの死者なしには、わたしたちも完全な者とされることはないのです。」²⁷ 先祖のために行う奉仕は、わたしたちが神殿での礼拝を継続して行く機会を与えてくれます。かつて生を受けたすべての人に祝福をもたらすために贖罪の業を行われた主の模範ならに倣って、わたしたちは無私の心で身代わりの業を行うのです。



いつの日か、わたしたちは必ず、造り主にまみえ、裁きの法廷で造り主の前に立ちます。聖典は次のように教えています。「門を守る者はイスラエルの聖者である。聖者はここには僕を使われない。またその門を通る以外に、ほかの道はない。そしてその御方を欺くことはできない。その御方の御名は、主なる神だからである。」²⁸ わたしたちが神殿で主と交わした聖約に誠実であり、聖約を守る人々に約束された栄えある祝福を受けるに値するかどうかは、主御自身が判断されます。

この展望は、人生の試練に耐える強さを与えてくれます。パッカー会長は、次のように述べています。

「教会の教えが最終的に目指しているものは、主イエス・キリストを信じる信仰の中で、親と子を一つに結びつけることです。それは彼らが家庭で幸福になり、永遠の結婚による結び固めを受け、世代同士を結びつけ、天の御父のもとでの昇栄を確信できるようにするためです。」²⁹

それぞれの神殿は、教会における会員であることの象徴として、死後の生活を信じる信仰のしるしとして、またわたしたちと家族のための永遠の栄光への踏み石として立っています。わたしは、教会の各会員が神殿のすばらしい祝福のために備えるように願っています。

Ensign, 2002年3月号, 17-23から改作



それぞれの神殿は、
教会における
会員であることの象徴として、
死後の生活を信じる
信仰のしるしとして、
またわたしたちと
家族のための
永遠の栄光への踏み石として
立っています。

注

1. 出エジプト 28:36; 39:30; 詩篇 93:5 参照
2. 出エジプト 19:5-6; レビ 19:1-2; 詩篇 24:3-5; 1テサロニケ 4:7; モロナイ 10:32-33; 教義と聖約 20:69; 110:6-9 参照。『聖句ガイド』『清さ』の項も参照
3. *Teachings of Gordon B. Hinckley* (1997年), 638
4. *Discourses of Brigham Young*, ジョン・A・ウィットナー選 (1954年), 416
5. *Teachings of Gordon B. Hinckley*, 639
6. 『聖句ガイド』ジョセフ・スミス訳ヘブル 7:3; アルマ 13:8 参照
7. 教義と聖約 2:1 (1823年9月21日付) 参照。教義と聖約 138:47-48も参照
8. 教義と聖約 124:40-41
9. 教義と聖約 14:7 参照
10. 教義と聖約 109:20
11. ラッセル・M・ネルソン『聖徒の道』1991年1月号, 82 参照
12. ゴードン・B・ヒンクレイ『リアホナ』2001年1月号, 67; 「母親としての最も大きなチャレンジ」『リアホナ』2001年1月号, 115 参照。ヒンクレイ大管長はこの説教の中で、次のような大管長会と十二使徒会の声明を読み上げている。「教会は入れ墨を入れることに反対します。また、医療上の目的のほか、体に穴を開けることにも反対いたします。ただし、女性が1組のイヤリングを着けるために、耳に最小限の穴を開けることは問題ではありません。」「若人への預言者の勧告と祈り」『リアホナ』2001年4月号, 37も参照
13. ニール・A・マックスウェル, *Not My Will, But Thine* (1988年), 135; 教義と聖約 100:16も参照
14. 使徒 10:34。モロナイ 8:12も参照
15. ボイド・K・パッカー, *The Holy Temple* (1980年), 73
16. 大管長会の手紙, 1988年10月10日付
17. イザヤ 55:8-9 参照
18. ジョン・A・ウィットナー, "Temple Worship," *Utah Genealogical and Historical Magazine*, 1921年4月号, 62 参照
19. リチャード・G・スコット『リアホナ』1999年7月号, 30
20. モロナイ 10:32; 『聖句ガイド』ジョセフ・スミス訳マタイ 16:26 参照
21. ニール・A・マックスウェル, *Not My Will, But Thine*, 135
22. モーセ 1:39
23. ビリビ 4:7 参照
24. ジョセフ・フィールディング・スミス, *Doctrines of Salvation*, ブルース・R・マッコンキー編, 全3巻 (1954-1956年), 第2巻, 118
25. アルマ 42:8 参照
26. ボイド・K・パッカー『聖徒の道』1987年7月号, 25
27. 教義と聖約 128:15
28. 2ニーファイ 9:41
29. ボイド・K・パッカー『聖徒の道』1995年7月号, 8

▲ブラジル・レシフェ神殿
奉献日: 2000年12月15日



神殿の歴史

十二使徒定員会

ジェームズ・E・タルメージ長老（1862-1933年）

定められた「場所」

神殿の基本的な概念は、現在も過去も、神聖と見なされる礼拝を行うために特別に定められた「場所」、また神聖さのとどまる「場所」を指しています。さらに制限された用法では、神殿は神聖な礼式と儀式を行うために建てられ、もっぱらそのために利用される「建物」を指します。

ラテン語の“*templum*”は、ヘブライ語の“*beth Elohim*”に相当し、「神の住まわれる所」という意味があります。したがって、文字どおり、これは主の宮を意味します。

様々な時代に、偶像礼拝者や、まことの生ける神に従う人々が、そのような建物を建設してきました。このような神殿の外庭は一般の集会や公の儀式を行う場所として使用される一方、建物の奥の方は常に、聖職者のみが入ることを許されました。

そこには神の臨在があるとされたのです。神殿は一般の人々が参加する集会場所とされたことは決してなく、神聖な建物として、礼拝制度における最も神聖な儀式を行う所とされました。

古代イスラエルの幕屋



昔、イスラエルの民は、生ける神の名によって聖所を建てる者として諸国民の中で際立った存在でした。この働きは特別にエホバから求められ、彼らはエホバに仕えていると公言していました。一つの国民としてのイスラエルの歴史は、出エジプトから始まります。彼らはエジプトの偶像礼拝の境遇から脱するやいなや、直ちに聖所を準備するように求められました。エホバが御姿を現され、彼らによって受

古代においても
現代においても、

主の聖約の民は、
神殿の建設が
自分たちに託された
特有の務めであると
考えてきました。

◀ 20世紀の初めに撮影された
カートランド神殿の内部の写真。



▲モーセはアロンに油を注ぎ、幕屋の中で奉仕する祭司としました。

▲幕屋はイスラエルが荒野を放浪している間、運搬可能な神殿としての役割を果たしました。

け入れられた主として王として、御心をお知らせになる場所とするためでした。

幕屋は、エホバの聖所として、イスラエルにとって神聖なものでした。それは啓示された方法と詳細な指示に従って建てられたものでした(出エジプト26-27章参照)。それは小型の運搬可能な建物として建設されました。それは天幕にすぎませんでしたが、民が所有していた最上の、最も高価な、最も貴重な材料で造られました。この最高の造形物は一つの国民が主にささげたものでした。それはあらゆる点で、民がささげることのできる最高のものでした。そしてエホバは神として、ささげられた贈り物を受け入れて聖別されたのです。

イスラエルが約束の地に定住した後、すなわち40年間の荒野での放浪生活を終えて、聖約

の民がついにカナンを自分の地としたとき、幕屋はシロに安住の場所を与えられました。そして、諸部族は神の御心と御言葉を知らるためにこの地にやって来たのです(ヨシュア18:1;19:51;21:2;士師18:31;サムエル上1:3,24;4:3-4参照)。その後、幕屋はギベオンに移され(歴代上21:29;歴代下1:3参照)、さらにダビデの町、シオンに移されました(サムエル下6:12;歴代下5:2参照)。

ソロモンの神殿



イスラエルの2代目の王ダビデは、神の聖所が天幕にすぎないのに王が香柏の宮殿に住んでいるのはよくないと語り、主のために宮を建てたいと考えてその計画を進めました(サムエル下7:2参照)。しかし、

主は預言者ナタンのおくを通して語り、申し出のあつたささげ物を受け入れるのを拒否されました。なぜならイスラエルの王ダビデは多くの点で神の御心に従う人でしたが、罪を犯しており、彼の罪は赦されていなかったからです(サムエル下7:1-13;歴代上28:2-3参照)。それでも、ダビデは主の宮のための資材を集めることは許されました。しかしその建物はダビデではなく、息子のソロモンが建てることになりました。

ソロモンは王位を継承するとすぐに神殿建設事業に着手しました。彼は治世の第4年に基礎を据え、7年半でその建物を完成させました。ソロモン神殿の建設は、イスラエルの歴史だけでなく、世界の歴史にとっても、画期的な出来事でした。



▲紀元前 1005 年に完成したソロモンの神殿は、歴史上最も際立った建物の一つです。

▲ソロモンの神殿の奉獻式は 7 日間行われました。それは、イスラエルにとって聖なる喜びの 1 週間でした。

一般に受け入れられている年代記によれば、その神殿は紀元前約 1005 年に完成しました。建築技術や建築様式の面からも、設計や費用の面からも、それは歴史上最も際立った建物の一つとして知られています。奉獻式は 7 日間行われました。それは、イスラエルにとって聖なる喜びの 1 週間でした。祭司たちが出て来たとき、雲が聖所に満ち、主が恵みをもってそれを受け入れられたことが示されました。「主の栄光が神の宮に満ちたからである」(歴代下 5:14。出エジプト 40:35; 歴代下 7:1-2 も参照)

汚されたソロモンの神殿

この壮麗な建物の栄光は長くは続きませんでした。神殿が奉獻されて 34 年後、すなわちソロ

モンの死後わずか 5 年で、衰退が始まりました。この衰退は間もなく広範囲な略奪へと進み、ついには実際に神殿の神聖さが汚されることになりました。ソロモンは、偶像礼拝を行う女たちに惑わされました。そして、彼の道を踏み外した行為により、イスラエルの罪悪が助長されました。神殿はすぐに神聖さを失い、エホバはもはや聖なる状態にないその場所から守りの手を取り去られたのです。

その民イスラエルはかつてエジプトでの奴隷の状態から救い出されたにもかかわらず、再びエジプト人の圧制を受けることになりました。エジプトの王シシャクは、エルサレムを攻め落とし、「主の宮の宝物……を奪い去った」のです(列王上 14:25-26)。

その神聖を汚す行為は何世紀にもわたって続きました。エジプトによる略奪から 216 年後、ユダの王アハズは祭壇と洗盤を取り去りました。しかし、かつて神殿であった建物だけは残りました(列王下 16:7-9, 17-18 参照。歴代下 28:24-25 も参照)。後に、バビロンの王ネブカデネザルは神殿からことごとく略奪し、その建物を焼き払ってしまいました(歴代下 36:18-19 参照。列王下 24:13; 25:9 も参照)。

ゼルバベルの神殿



このように、わたしたちの主がこの世に来られるおよそ 600 年前に、イスラエルは神殿のないまま放置されました。その民は偶像礼拝の民となり、すっかり邪悪になっていました。そこで主は彼らを拒み、彼らの聖所も拒絶されました。



▲バビロニアに捕囚されている間に、ユダヤ人はエルサレムに戻って神殿を再建することを許されました。

▲救い主の地上での生活における多くの出来事は、主が神殿の神聖さを認めておられたことを示しています。

12部族のうちのおよそ10部族から成るイスラエルの王国は、紀元前約721年にアッシリヤに支配され、さらに1世紀後には、ユダ王国もバビロニアに征服されていました。後にユダヤ人として知られるようになったユダの民は、かつて預言されたとおり、70年間捕囚の状態になりました(エレミヤ25:11-12; 29:10参照)。

その後、友好的なクロス(エズラ1, 2章参照)とダリヨス(エズラ6章参照)の統治下に、彼らはエルサレムに帰って再び彼らの信仰に従って神殿を建てることを許されました。再建された神殿は、その工事の監督者を記念して、ゼルバベルの神殿として歴史上知られています。この神殿は壮麗なソロモンの神殿に比べると仕上げや調度品の豊かさでは劣るものの、民が建てることのできた最上のものでした。

そのため、主は聖約の民の愛と献身を表すささげ物としてそれを受け入れられました。

ヘロデの神殿



キリストの降誕のおよそ16年前に、ユダヤの王ヘロデ1世が、当時すでに荒果てていたゼルバベルの神殿の再建に取りかかりました。その建物は建設されて5世紀たつ間に、時の経過とともにひどく荒れていたことは疑いありません。

救い主の地上での生活における多くの出来事は、ヘロデの神殿に関係しています。聖文から明らかなように、神殿が卑俗な商売に利用され、汚されていたにもかかわらず、キリストは神殿の神聖さを認めておられました。

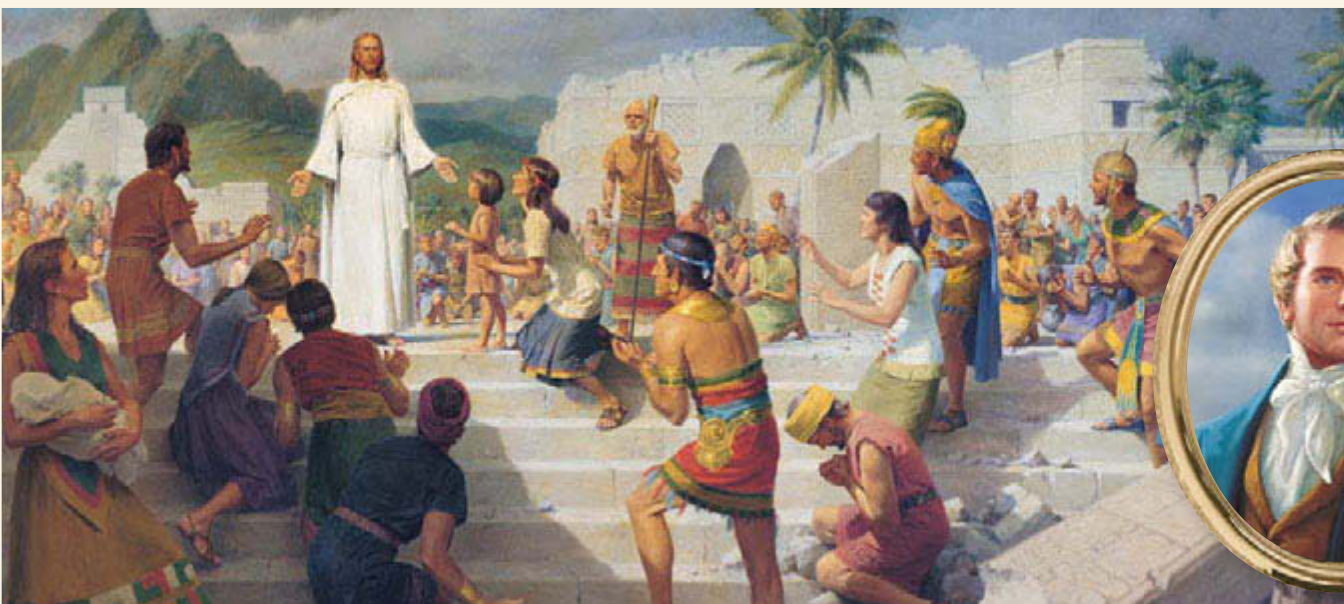
それがだれの名で知られていようと、神殿は主のために建てられた主の宮でした。

主はまだ肉体を持って生活しておられたときに、その神殿が完全に破壊されることを予告されました(マタイ24:1-2; マルコ13:1-2; ルカ21:6参照)。そして、紀元70年にティトゥスの統治下にローマ人によってエルサレムが占領された際、神殿は火によって完全に破壊されたのです。

古代アメリカの神殿



ヘロデの神殿は、古代に東半球に建てられた最後の神殿です。その偉大な建物の破壊から19世紀におけるイエス・キリストの教会の再建の時に至るまでの神殿建設の唯一の記録は、モルモン書に見られるものです。



▲復活された救い主はアメリカ大陸に御姿を現されたとき、神殿にいられました。

▲長年にわたる背教の後、神殿での礼拝に必要な権能がジョセフ・スミスを通して回復されました。

モルモン書が確言しているように、現在アメリカ大陸として知られている地に幾つかの神殿が建てられました。しかし、西半球のこれらの神殿に関する建設の詳細や執行された儀式の詳細はほとんど分かりません。その民は紀元前 570 年ごろに一つの神殿を建てました。これはソロモンの神殿に倣って造られましたが、その壮麗さと費用の面ではその豪華な建物にははるかに及ばなかった(2 ニーファイ 5:16 参照)ことをわたしたちは知っています。

復活された主が西半球のニーファイ人に御姿を現されたとき、民が神殿の周りに集まっているのをご覧になりました(3 ニーファイ 11:1-10 参照)。

しかしながら、モルモン書はエルサレムにある神殿の破壊のとき以降、神殿については何も述べていません。さらに、ニーファイ人の国もキリストの時代からおよそ 4 世紀足らずで存在しなくなりました。したがって、東西両半球で大背教の初期の時代に神殿が存在しなくなり、特別な意味を持つ神殿の真の概念が人類の間からなくなってしまったことは明らかです。

背教と回復

その後、何世紀もの間、主に聖所はささげられませんでした。事実、その必要性が認められなかったことは明らかです。たしかに多くの建物が建てられ、そのほとんどは高価で壮大なものでした。あるものはペテロやパウロ、

ヤコブやヨハネにささげられ、またあるものはマグダラのマリヤや聖母にささげられました。しかし、キリストなるイエスの権能と御名をたたえて建てられたものはまったくありませんでした。数多くある礼拝堂や寺院、教会堂や大聖堂の中で人の子が御自身のものと見なされる場所はありませんでした。

19 世紀に福音が古代にあった力と特権とともに回復されるまで、人々の間に聖なる神権は与えられませんでした。神の名によって語り、行う権能が神殿に必須のものであり、聖なる神権の神聖な権能がなければ神殿は無に等しいということを覚えておいてください。ジョセフ・スミスを通して、昔の福音が地上に回復され、昔の律法が再度確立されました。



▲ 1836年3月オハイオ州カートランドで
末日における最初の神殿が奉獻されました。



▲ ソルトレーク盆地に到着して間もなく、
ブリガム・ヤングは「ここにわたしたちの
神の神殿が建つ」と宣言しました。

やがて、預言者の働きを通じて、
末日聖徒イエス・キリスト教会が
神の力の現れによって組織され、
設立されました。

末日の神殿



この教会は、その歴史のきわめて早い時期に神殿建設の準備を始めました(教義と聖約 36:8; 42:36; 133:2 参照)。1833年6月1日に、預言者ジョセフ・スミスに与えられた啓示の中で、主は聖なる宮の建設を直ちに開始するよう指示され、そこで主の選ばれた僕たちに力と権能を授けようと約束されました(教義と聖約 95章 参照)。人々は快くその呼びかけに応じて献身しました。極度な貧困と

絶え間ない迫害にもかかわらず、作業は進められ、1836年3月に、オハイオ州カートランドで近代の最初の神殿が奉獻されました(教義と聖約 109章 参照)。奉獻式では、古代の最初の神殿をささげた人々にあったと同様の神聖な現れがありました。またその後、天から遣わされた方々がその神聖な建物を訪れ、人に対する神の御心を伝えました。その場に主イエスが再び御姿を現し、語られました(教義と聖約 110:1-10 参照)。

その奉獻のときから2年足らずで、カートランド神殿を建てた人々はその神殿を放棄しました。迫害のために逃げ出さざるを得なかったのです。そして彼らが去ると、その神聖な神殿は普通の家となりました。

末日聖徒は移住しなければなりませんでした。彼らはまずミズーリに住み、その後イリノイに移りました。彼らが新たな居住地に定住して程なく、啓示の聲が下り、神の名のために再び神聖な宮を建てるよう民に呼びかけられました。

人々は再び逃げ出さざるを得ないこと、またその神殿は完成後間もなく放棄せざるを得ないことが明らかであったにもかかわらず、力を尽くして熱心に働き、立派に建物を仕上げました。建物の奉獻は1846年4月30日に行われましたが、建物の完成前に人々の脱出が始まっていました。

貧困の中で犠牲を払ってその神殿を建てた人々はそれを放棄しました。1848年11月、神殿



▲ 1893年から現在に至るまで、世界中で130以上の神殿が建設され奉獻されました。

は放火され、焼け焦げた壁も1850年5月には大きな竜巻によって破壊されました。

1847年7月24日に、モルモンの開拓者たちはユタの盆地に入りました。開拓者たちは現在ソルトレーク・シティーとなっている場所に定住地を設けました。数日後、預言者であり指導者であったブリガム・ヤングは、ヤマヨモギの荒れ地に一つの用地を定め、その乾いた大地に杖を突き立て、「ここにわたしたちの神の神殿が建つ」と宣言しました。その地は今、テンプルブロック〔現在のテンプルスクウェア〕になっており、ここを中心にして都市が発展しました。ソルトレーク神殿は建築に40年を要し、

1892年4月6日にかさ石が置かれ、1年後に完成した神殿の奉獻が行われました。

神から命じられ



古代でも現代でも、聖約の民は神殿の建設を自分たちに託された特有の務めであると考えています。神殿は教会の礼拝堂以上のものであり、会堂や大聖堂以上のものであることは明らかです。それは主の宮として建てられた建造物であり、主と聖なる神権者の密接な交通が行われる所、最も崇高で最も神聖な儀式のためにささげられた建物です。さらに、実際に聖なる神殿となるためには、すなわち

神に受け入れられ、神により神の宮として認められるためには、そのささげ物が主により求められ、ささげる物とささげる人がふさわしくなければならないのです。

末日聖徒イエス・キリスト教会は、地上に再び回復された聖なる神権を有し、また、まことの生ける神の名と奉仕のために神殿を建て、それを維持するように、そしてそれらの神聖な建物の中で地上においても墓を超えても効力が続く神権の儀式を執行するように神から命じられていると宣言しています。

The House of the Lord: A Study of Holy Sanctuaries, Ancient and Modern (1968年)から改作

- ▲ メキシコ・タンピコ神殿
奉獻日：2000年5月20日
- ▲ サモア・アピア神殿
奉獻日：1983年8月5日
再奉獻日：2005年9月4日
- ▲ スペイン・マドリド神殿
奉獻日：1999年3月19日



この宮に 関すること





神殿の バプテスマフォントは

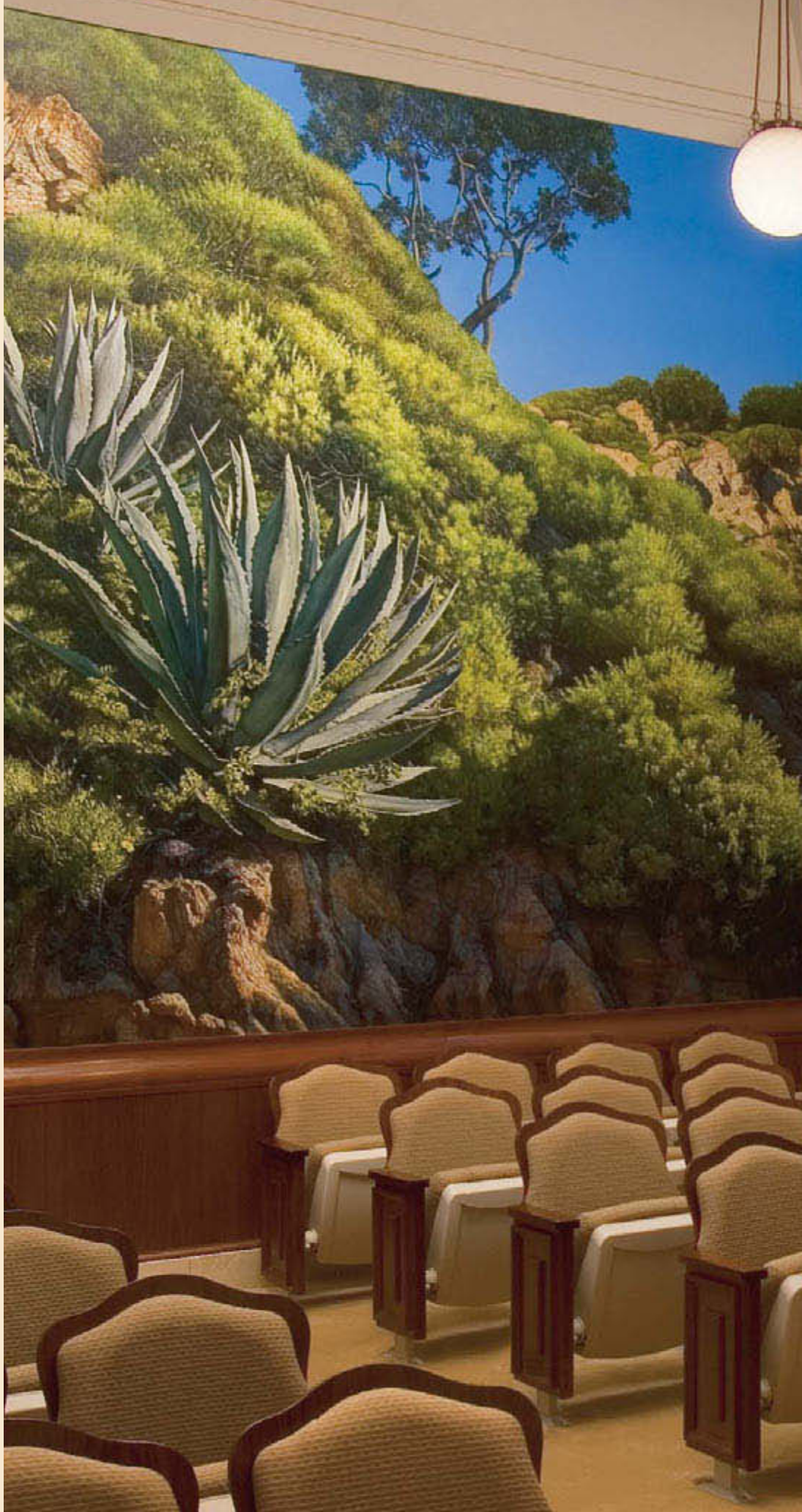
12頭の雄牛の背中に
乗せられています
(歴代下4:2-4参照)。
これはイスラエルの
十二部族を象徴しています。
救い主の
無私の奉仕の模範に従い、
わたしたちは
バプテスマの儀式を
受けることなく亡くなった
先祖たちのために
その儀式を
行うことができます。

- ◀ ステンドグラス
イリノイ州ノーブー神殿 (左端)
- ◀ バプテスマフォント
ユタ州ドレーパー神殿
- ▲ バプテスマフォント
アリゾナ州ギラバレー神殿



儀式の部屋では、
神が御自分の
子供たちに対して
持っておられる計画が
概観できます。
末日聖徒は、
前世での生活や
死すべきこの世について、
世界の創造と
人の墮落について、
神のすべての子供を贖う^{あがな}
イエス・キリストの
役割について、
そして神の子供たちが
次の世で受けられる
祝福について学びます。

- ▲ 儀式の部屋
ニューヨーク州マンハッタン神殿
- ▶ 儀式の部屋
カリフォルニア州ニューポートビーチ神殿









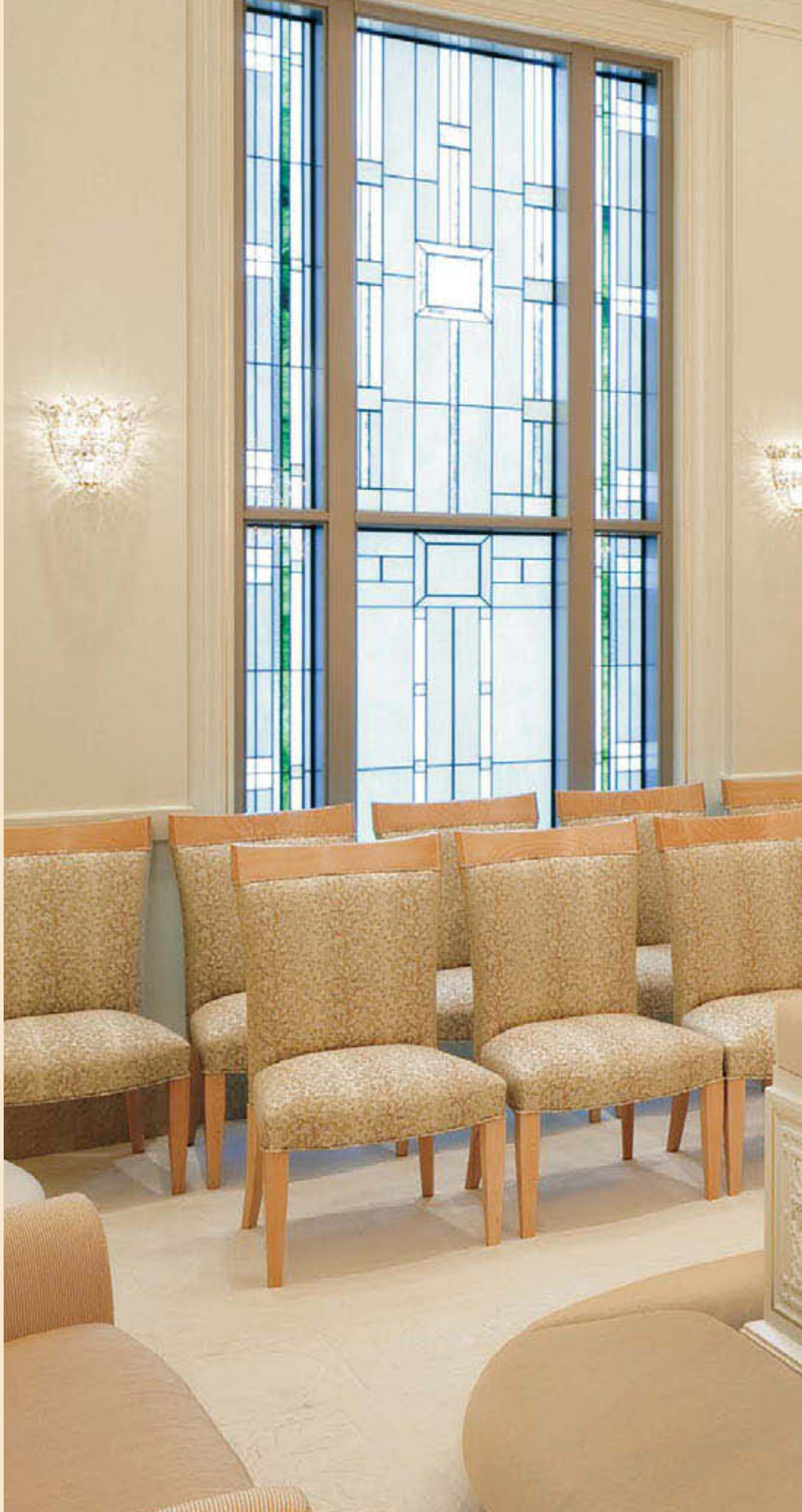
日の栄えの部屋は
イエス・キリストの福音に従って
生きることから得られる、
高く上げられた平安な状態を
象徴しています。

この部屋は、
天の御父とその御子
イエス・キリストの
みまえ
御前に住む永遠の家族が
得ることのできる、
満足、内なる調和、平和を
表しています。

- ◀ 日の栄えの部屋
テキサス州サンアントニオ神殿
- ▲ 大階段
ユタ州オーカーマウンテン神殿



結び固めの部屋では、
花嫁と花婿は^{はなむこ}
この世だけでなく
永遠にわたって
結婚します。



▲象眼細工の木製テーブル
メキシコ・メキシコシティー神殿

▶結び固めの部屋
ブリティッシュコロニア州
バンクーバー神殿





ANGEL OF THE LORD

CONSTRUÍDO EM 1964
POR OBRAS DE
ARTES PLÁSTICAS

TEMPLE OF
SAN JUAN BAUTISTA
CONSTRUÍDO EM 1964
POR OBRAS DE
ARTES PLÁSTICAS

TEMPLE OF
SAN JUAN BAUTISTA
CONSTRUÍDO EM 1964
POR OBRAS DE
ARTES PLÁSTICAS

神殿の奉仕, 神殿の祝福

神殿結婚は 何にも代えがたい 価値がありました

ジオバニー・メディナ

最初のベンチャービジネスに失敗し、2度目のビジネスも崩壊したとき、初めて、婚約者のベニーを神殿に連れて行けるのだろうかと不安になりました。神殿に行くときには信仰が試されるということは聞いていましたが、わたしたちが神殿結婚を目標にしたときには、どれほど徹底して信仰が試されるのかまったく分かっていませんでした。

ベニーとわたしは、それぞれが伝道を終えた後に故郷パナマで出会いました。パナマの法律に従うために、神殿において結婚生活を始めた男女は最も近いグアテマラ・グアテマラシティー神殿に向かって旅行する直前に市民結婚をしていました。神殿への旅行は高額な費用がかかる困難なものでしたが、わたしたちは結び固めという祝福なしに生活したくないと感じていました。

プロポーズをした翌日、わたしは仕事を失いました。気落ちすることなく観光バスの仕事をしようと決心しました。初日の夜にわたしのバスは故障しました。不安になりましたが、心を決めて、今度はTシャツを売ることにしました。シャツを受け取るために製造会社に行った朝、その前の夜に工場が全焼したことを知りました。わたしの希望も煙になったような気がしました。

次回の神殿旅行の予定がほんの数か月先に迫っていましたが、その時点で、費用を稼ごうとするわたしの努力はすべて、予期せぬ事故で失敗に終わっていました。わたしは煙が立ち上る瓦礫がれきを後にし、ベニーを探しに行きました。

わたしはベニーに言いました。「ぼくには何もない。たぶん君はぼくと結婚しない方がいいんだよ。」

彼女は言いました。「お金のために結婚するのなら、もうとっくに結婚していたわ。でも、お金が目的ではないの。あなたを愛しているから結婚するのよ。」

この時代に
回復された
神権の結び固めの力を
信じていたので、
わたしたちは
あきらめませんでした。
わたしたちの神殿結婚は、
この世においても
永遠にわたっても有効であり、
どのような犠牲も
支払う価値のあるもの
であることを
知っていたのです。

◀グアテマラ・グアテマラシティー神殿
奉献日：1984年12月14日



それが転機となりました。わたしたちは重要な試しに合格したと感じました。信仰をもって前進し始めると、扉が開かれるようになりました。わたしは家具を作る仕事を見つけましたが、賃金が安く、自分たちの必要を満たすことができませんでした。そのようなときに、親切なビショップがわたしたちのバス料金を援助してあげようと言ってくれました。彼の申し出は心を高めてくれましたが、甘えてはいけなと感じました。わたしたちは自立を目指していたのです。しかし、彼が本気で助けたいと思っていることが分かったので、わたしたちは代わりにベニーに仕事を頂けないかと尋ねてみました。ビショップはベニーに仕事をくれました。

神殿まで旅行するのに十分な費用を稼いだ後で、わたしたちは市民結婚をして、ようやく、ほかの10人の教会員と一緒にゲアテマラへ向けて旅立ちました。でも、わたしたちの試しはまだ終わっていませんでした。

広範囲で行われていた交通機関のストライキのために、コスタリカとの国境で足止めをくいました。2日間待った後で、運転手は引き返すことに決めました。しかし、ベニーとわたしと、二人の兄弟ともう一組のカップルは、あきらめないことに決めました。バスがぐるりと向きを変えて去って行くのを見守った後で、わたしたちは徒歩でコスタリカへ入りました。わたしたちは歩きました。夜は道端のシェルターで

眠りました。そしてついに、ニカラグアの国境へたどり着きました。そこから、何とかタクシーで首都に到着し、そこでホンジュラスとの国境まで行くバスの切符を買いました。2日後（そしてさらに2台のバスを乗り継いだ後）、わたしたちはついに神殿に到着しました。わたしたちは汚れており、疲れており、予定よりもはるかに多くのお金を使っていましたが、それでも幸せでした。

翌日、多くの試しを受け、待たされた後に、わたしたちはついに、夫婦として永遠に結び固められました。わたしたちは、それまでの苦労と、待たされた時間と、不安が吹き飛ぶほどの喜びに満たされました！

神殿で結婚するすべての人がこのような試練に遭うわけではないでしょうが、ベニーとわたし（わたしたちと一緒に神殿に行った人たち）にとって、この経験は精練のプロセスでした。それは、わたしの人生の中で最も素晴らしい経験の一つでした。

神殿で結婚する目標が単にこの世の愛だけのためだったとしたら、わたしたちは達成できなかったことでしょう。でも、この時代に回復された神権の結び固めの力を信じていたので、わたしたちはあきらめませんでした。わたしたちの神殿結婚は、この世においても永遠にわたっても有効であり、どのような犠牲も支払う価値のあるものであることを知っていたのです。

神殿はどのように 助けになるか

フランシス・W・ホジソン

子育てに、予期せぬ苦労や思いがけない祝福が付き物であることは、親ならだれでも承知しています。夫もわたしも、親の役割を永遠の観点から考えるとき、その責任の重大さと同時に大きな希望も感じることを知りました。

もちろん主は、わたしたちの重荷を軽くするために霊的な報いを与えてくださいます。わたしたちの家族にとって最高の霊的な報いは、子供たちの成長に伴い解決の困難な問題が生じたとき、神殿に参入し、その具体的な問題を主のもとに携えて行けることです。

子供たちが10代になったころのことです。わたしたちは、子供たちには重大な過ちを犯す危険性が潜んでいることに気づきました。それに対処するため、できるかぎり手を尽くしたつもりだったにもかかわらず、危険性が消えていないことを知ったときは、特に不安に駆られました。

そんなときわたしたちは、子供たちが正しい選択をするよう助けるに際して、神殿が重要な要素になり得ることを見いだしました。子供たちのために断食と祈りの精神で神殿に参入することから大いなる強さと祝福が得られることに気づいたのです。わたしたちは、神殿に参入するに先立って思いや態度においてふさわしくなるため、また個人的な準備のために祈ります。ふさわしいときには、神殿の中にいるときに、親としての役割や、助けを必要とし

ている子供のことについて深く考えます。

すぐにはっきりと答えを受けることもありました。初めて答えが返って来たとき、最初何かの偶然かと思いました。しかし、天の窓が開かれ、祝福がもたらされたことは、すぐにはっきりしました。奇跡や劇的な何かが起こるわけではありません。そのようなことは必要ではないのです。

時として、答えが、子供たちの生活にかかわりのある人々を通してもたらされることもありました。例えば、愛に満ちたビショップが、大学生の娘が危険な状況にあったときに助けてくれました。ほかの子供たちも同じように祝福されました。それぞれ選択の自由があり、わたしたちの望む選択をしない可能性もありますが、わたしたちが神殿で奉仕していることを通して天の助けが子供たちの生活にもたらされていると感じています。

神殿での礼拝を通して祝福を受けたのは、子供たちだけではありません。あるとき、夫はとても

込み入った仕事上の問題に直面していました。彼は神殿で主にお伺いをたてようと決心しました。すると神殿参入をしたその日に、主は夫を祝福されました。彼の心に問題の答えとなるある聖句が思い浮かんだのです。

家に帰ると彼は真っ先に聖典を開き、この問題解決の糸口を見いだしました。この経験によって、その聖句の新しい解釈の仕方を見いだすことができました。このように、直面している問題の答えとなる聖句を思い起こさせることにより、主は子供であるわたしたちに語られることがあります。神殿で学んだこの原則に心から感謝しています。

この世は邪悪に満ちています。サタンが至る所で家庭を滅ぼそうとして、猛威を振るっています。しかし、主の宮に行き導きを求められることを考えると、慰めになります。家庭生活においてどんな問題に直面したときでも、聖なる神殿で守りと慰めを得ようと努めるなら、喜びを見いだせるからです。





こどもたちへ

あなたの道は しんでんへ 続いています

しんでんは しゆの 家^{いえ}です。しんでんは 天^{てん}のお父^{とう}さまについて 学^{まな}ぶばしょです。しんでんは 天^{てん}のお父^{とう}さまと せいやく(やくそく)をして、すばらしい しゆくふくを うけるばしょです。しんでんの中では、自分^{じぶん}のためにも、なくなっただけのためにも、大切なこと^{たいせつ}を します。しんでん^{なか}の中で することは、ししゃのためのバプテスマや、エンダウメントや、むすびかためです。これらは、しんでん^{なか}のぎしきと よばれています。

しんでん^{なか}の中で どんなことが ありますか

ししゃのための バプテスマ

8さいになったら あなたは バプテスマをうけて、まつじつせいとイエス・キリスト教会の かいいんに かくにんされます。あなたの せんぞ^{なか}の中には、バプテスマと かくにん^{ひと}のぎしきを うけずに なくなっただけのためにおおぜい います。その人たちの 体^{からだ}は しんでん^{なか}にいますが、れいは れいかいで 生きています。れいかいでは、イエス・キリストの ふくいん^{おし}が 教えられています。

12さいになったら あなたは しんでん^{なか}へ 行って、なくなっただけの人たちの

名前^{なまえ}で バプテスマと かくにん^{ひと}を うけることが できます。その後^{あと}で、なくなっただけの人^{ひと}は、バプテスマと かくにん^{ひと}をうけ入れるか どうか 自分で えらびます。ししゃのためのバプテスマを うけるときは 白^{しろ}いふくを きることでしょう。ちょうど あなたが 自分^{じぶん}のために バプテスマをうけたときと 同様^{おな}です。

お父^{とう}さんか お母^{かあ}さんに たすけてもらって、まつじつせいとイエス・キリスト教会^{きょうかい}の バプテスマを うけずに なくなっただけの人^{ひと}たちのリストを 作りましょう。だれかが その人たちのために もう しんでん^{なか}に いったか どうか しらべましょう。

エンダウメント

しんでん^{なか}の すばらしい しゆくふくの 中^{なか}に、エンダウメントが あります。「エンダウメント」とは「おくり物^{もの}」という いみです。自分^{じぶん}のエンダウメントを うけると、すくいのけいかくについて もっと 知ることができ、せいやくを むすぶことができます。せいやくとは、天^{てん}のお父^{とう}さまと むすぶ やくそく^{どう}のことです。その せいやくを まもると、天^{てん}のお父^{とう}さまと イエス・キリストと いつの日か いっしょに 生活^{せいかつ}する ぞなえができます。



い ちばん 近い
しんでんは

どの しんでんか
知っていますか。

そのしんでん^{なか}の 絵^えを
かいて、毎日^{まいにち}

見ることができるところに
ぶら下げましょう。

▲マサチューセッツ州ボストン神殿
奉献日：2000年10月1日



このしゃしんの
かがみを見て下さい。
むすびかためのへやには、
このような
かがみが あります。
しんでんで
むすびかためられると、
家族は、このかがみに
はんしゃしているように、
えいえんに つづくのです。

▲結び固めの部屋
ナイジェリア・アバ神殿

しんでんの中には 日のさかえの
へやと よばれる、うつくしく、へい
あん(ひび)にみちた へや(ひ)があります。日
のさかえのへやでは、天のお父さま
と イエス・キリストを みぢかに
かんじることができます。日のさかえ
のへやに いると、日のさかえの王
国で お二方といっしょに 生活す
ることは どのようなものか、少し
かんじることができます。

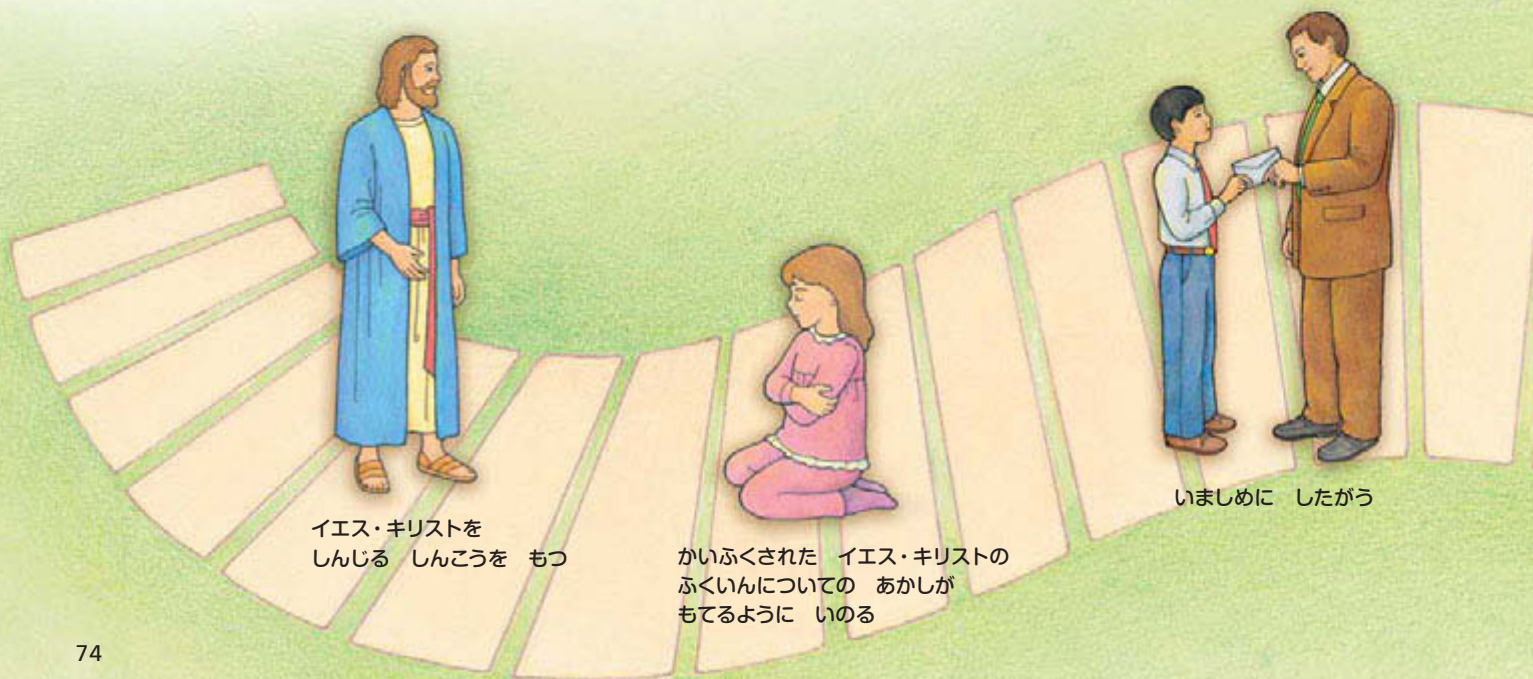
このよに おいても えいえんに わたっても むすびかためられる

しんでんで けっこんする男女は
せいだんに ひざまずき、このよに
おいても えいえんにわたっても む
すびかためられます。つまり、この
男女も その 子どもたちも えい
えんのかぞくとして むすばれるの
です。しょうらい しんでんで けっ
こんすることを 計画してください。
これは しんでんの もっとも 大
きな しゆくふくです。

しんでん すいせんじょう

しんでんは しんせいな ばしょ
です。ビショップや しぶ会長は、
しんでんに 入る人が じゅんぴが
できていて、ふさわしいことを たし
かめます。わたしたちは、しんでんに
行く前に、ビショップか しぶ会長
から とくべつな めんせつを うけ
ます。そこで、教会について あか
しがあるか、いましめを まもってい
るか、教会の しどうしゃをしじ
しているか、ちえのことばに した
がっているか、じゅうぶんの一を
おさめているか、何でも しょうじき
に 行い、しょうじきに 話してい
るか、たずねられます。ビショップ
や しぶ会長は、しんでんに 入る
ふさわしさを みにつけるために、ど
うしたらよいか 教えてくれます。

しんでんに 入る そなえをする 方法を 学ぶために、この 道に したがいましょう。



イエス・キリストを
しんじる しんこうをもつ

かいふくされた イエス・キリストの
ふくいんについての あかしが
もてるように いのる

いましめに したがう

しんでんに 入るために、
今から、じゅんびする

天のお父さまは、正しい生活をして、しんでんに 入る人たちに たくさん の しゅくふくを くださいます。

天のお父さまは、あなたを あいしています。そして、あなたに しんでんの しゅくふくを うけてほしいと おもっておられます。天のお父さまは、あなたが 自分のため、また、なくなった人のために ぎしきを行うときに、あなたを しゅくふくしてくだ

さるでしょう。今はまだ しんでんに 入れないかもしれませんが、もし 近くに しんでんが あったら、しんでんの にわに 行って、そこにある みたまを かんじることができます。また、しんでんの しゃしんを 家にかざり、しんでんの 大切さを、思いおこすことができます。しょうらい、しゅのみやに 入るために、正しい 生活を おくってください。

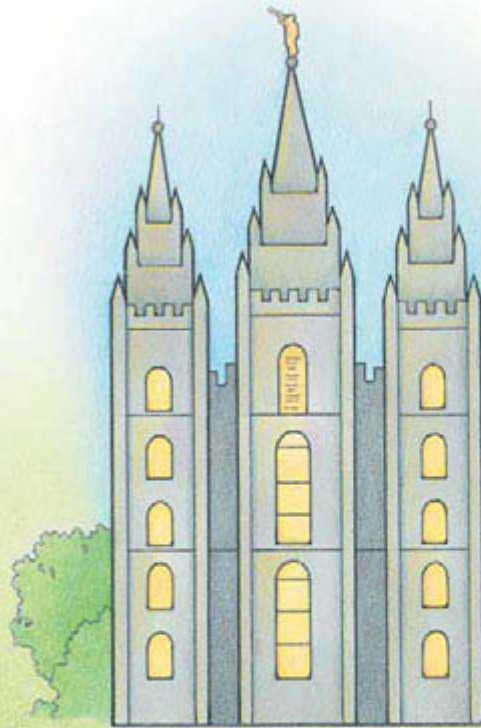


このしゃしんと

64 ページの

しゃしんに うつつている
日のさかえのへやを見てください。
日のさかえのへやを 見ると、
どのように かんじますか。

▲日の栄えの部屋
トンガ・ヌクアロファ神殿



バプテスマとかくにんを うけたあとは、
せいれいが ともに いてくださるように
いつも ふさわしく 生活しようと
どりよくする



けいけんさを みにつける。
なぜなら、しんでんは
とても けいけんな ところだからです



バプテスマをうけ、
バプテスマの せいやくを
まもる



神殿を 生活の一部にする

神殿は地球で最も神聖な場所です。地と天が出会い、わたしたちが天の御父とイエス・キリストを近く感じることでできる場所です。皆さんは将来受ける神殿の儀式のために準備をしているかもしれませんが、神殿の深遠な影響力は皆さんの今の生活に及ぶものなのです。皆さんが若いときに神殿を生活の一部にするためにできることを幾つか紹介しましょう。

死者のためのバプテスマに参加する

12歳以上のふさわしい若い男性と若い女性は、バプテスマを受けずに亡くなった先祖のためのバプテスマを受けるために神殿を訪れることができます。トーマス・S・モンソン大管長は、この奉仕から得られる喜びについて語りました。

ある朝のこと、神殿に向かって歩いていると、死者のためのバプテスマに早朝から参加した若い女性のグ

ループを見かけました。髪はぬれていましたが、その笑顔は輝き、心は喜びで満たされていました。一人の少女が神殿を振り返り、心を込めてこう言いました。「今日はわたしの人生でいちばん幸せな一日だったわ。」¹

アラバマ州ダフネに住む13歳のジェシカ・ハンは、ジョージア州アトランタ神殿で先祖のためにバプテスマを受けました。神殿まで行くのは5時間かかりましたが、その経験はすばらしかったと言っています。「清潔な白い服を着て、先祖のためにバプテスマを受けられて、とても良い気持ちを感じました。今では、先祖の人たちをよく知っている感じがします」と彼女は言いました。

できるかぎり頻繁に神殿に行ってください。そこで、皆さんは、だれかがバプテスマの祝福を受けるのを助けるときの喜びを経験することができます。

皆さんは
将来受ける
神殿の儀式のために
準備をしている
かもしれませんが、
神殿の深遠な影響力は
皆さんの今の生活に
及ぶものなのです。

◀ 韓国ソウル神殿
奉献日：1985年12月14日



ディーター・F・
ワークトドルフ管長は、
こう説明しています。
「神殿推薦状の
質問の中に
主が定めておられる
標準と、
『若人の強さのために』の
中にある標準〔は〕
よく似てい〔ます。〕」

神殿の業を支える

皆さん自身が頻繁に神殿に行けなくても、神殿の業を支える方法はたくさんあります。皆さんは自分の先祖について学び、彼らのために神殿の儀式が行われているかどうか調べることができます。小さい子供を持つ両親が神殿に参入できるよう、小さな子どもたちの面倒を見ると申し出ることができます。神殿の奉仕は家族に焦点を当てているので、皆さんは自分の家族を強めるために努力することができます。そして、神殿はほんとうに主の宮であるという自分の証をほかの人に分かち合うこともできます。

神殿に参入するにふさわしく生活する

神殿はとても神聖な場所なので、主は神殿の中に入る前に従うべき高い標準を設けられました。ディーター・F・ワークトドルフ管長は、こう説明しています。「神殿推薦状の質問の中に主が定めておられる標準と、『若人の強さのために』の中にある標準〔は〕よく似てい〔ます。〕平穏なときも、大きな誘惑に遭うときにも、これらの標準と聖霊の導きに従うことにより、正しい選択をすることができます。……標準の守り方を見れば、皆さんが何者で、どのような人になろうとしているかが分かります。」²

主の標準に従ってください。そうすれば、神殿に参入するにふさわしくなれます。将来神殿に入るといふ願いを持っていれば、今、誘惑を払いのけることができます。「それは、ふさわしくあり続ける理由になります」と、フロリダ州サンライズに住む16歳のマーローン・ルイズは言っています。

「それを目標にしているかぎり、自分の行いについていつも考えるはずです。なぜなら、ふさわしくなければ神殿の中に入れないからです。」

神殿結婚を計画する

「わたしは神殿を見て、いつかそこで結婚することについてよく考えます」と、ノルウェーのオスロに住む16歳のアニカ・リースメイアーは言います。「神殿で約束することは、主との約束であることを知っています。神殿で学ぶことは、絶対に変わったり消えたりしません。」

よく目につく場所に神殿の写真を飾り、いつか自分自身のための神殿の儀式を受ける日のことを楽しみにしましょう。

ユタ州アメリカンフォークに住むジョディー・ヘーゼルバーカーは14歳のとき、ユタ州マウントティンパノガス神殿のオープンハウスに訪問しました。「花嫁の部屋の中を歩いていたとき、少し立ち止まって、鏡の中をのぞき込みました」と、彼女は振り返ります。「すると、未来の自分自身の姿が見えました。美しいウェディングドレスを着て、にっこり笑っているのです。わたしは、自分が結婚すべき場所はここだと分かりました。神殿、わたしの天の御父のみそばこそ、わたしが結婚する場所です。」

注

1. トーマス・S・モンソン「日の栄えへの旅」『リアホナ』1999年7月号、115
2. ディーター・F・ワークトドルフ『リアホナ』2006年5月号、44

よくある質問



神殿では何を行いますか。

神殿で、わたしたちは教えを受け、聖約を交わし、祝福を約束されます。神のもとで生活できるようにする儀式を受けます。

わたしたちが神殿で受ける一つの儀式がエンダウメントです。エンダウメントという言葉は、「賜物」や「付与」という意味です。この儀式の一部として、人生の目的、イエス・キリストの使命と贖罪、天の御父の子供たちのための計画について教えを受けます。神殿の安らかな雰囲気を感じる時、天の御父のもとで生活するとはどのようなことかをかきま見ることができま

す。もう一つの神殿の儀式は結び固めの儀式です。この儀式により、夫婦は互いに結び固められ、また子供たちは永遠の家族として両親に結び固められます。すなわち、聖約に忠実であれば、家族関係が永遠に続くのです。

自分自身のためにこれらの儀式を受けるほかに、亡くなった先祖のためにも儀式を受けることができます。このようにして、バプテスマと確認、エンダウメント、

結び固めなど、必要不可欠な儀式を受けることなく亡くなった人々は、これらの儀式を受け入れる機会があるのです。

神殿の内部はどのようになっていますか。

神殿は、世の煩いや喧騒から隔てられた、静かで、神聖な場所です。神殿のすべての場所が、敬虔の念を維持するために美しく、また注意深く整備されています。神殿は主の宮であり、またそこで神聖な儀式が執行されるため、神殿内で、わたしたちは御霊を豊かに感じ、主を身近に感じることができます。神殿で、わたしたちは、試練を克服するのに助けとなる個人の啓示と霊的な強さを受けることができます。わたしたちが定期的に神殿に参入するように勧められている理由の一部はこれです。

神殿に参入するとき、どのような服装をするべきでしょうか。

神殿に参入するときは、慎み深い日曜日の服装をします。聖餐会に出席する場合と同じように、極端な服装や身だしなみは避け

ます。清潔で整った服装をすることにより、主と主の宮に対して敬虔さと敬意を示し、御霊を招きます。

神殿内には、日曜日の服から白い衣服に着替える更衣室があります。この着替えは、一時的に世を離れて聖なる場所に入ることを思い出させる役割を果たします。白い衣服は清さを象徴しており、すべての人が神殿内で同じような服装をすることは、一致と平等の感覚を生み出します。

いつ自身のエンダウメントを受けるときでしょうか。

ほとんどの場合、専任宣教師として奉仕する前か、神殿で結婚する前に、自身のエンダウメントを受けます。宣教師の召しを受けていない、あるいは神殿で結婚する婚約をしていない10代後半または20代前半の独身会員については、通常、自身のエンダウメントを受けるための推薦は行われません。

新会員は、バプテスマと確認後、自身のエンダウメントを受けるまで少なくとも1年待ちます。

▲日の栄えの部屋
ユタ州マウントティンパノガス神殿

自身のエンダウメントを受けることは重要なことです。それについてビショップと話し合ってください。準備のできたときが分かるように、祈り、よく考えてください。

神殿内での経験についてほかの人々に何を話すことができますか。

神殿のインテリアはどのようなものであるか話すことができますし、神殿内で感じた気持ちも自由に分かち合うことができます。しかしながら、神殿の聖約と儀式は、使われている言葉も含めて、神殿外で詳細に話し合うにはあまりにも神聖すぎます。神殿外でこれらの神聖な事柄について話し合うのを避けることによって、わたしたちは、あざけり、嘲笑、あるいは不敬からそれらを守ります。神殿での経験をくだけた調子で話してはなりません。

神殿内で象徴が使われているのはなぜですか。

救い主は、地上で教導の業に携わっておられたとき、永遠の真理を象徴的に表すためにしばしばたとえを用いて教えられました。救い主は、神殿内でも同様の方法で学ぶように指示を与えられました。神殿の儀式と聖約、その提示、物理的な環境、着る衣服に象徴が用いられています。聖霊の導きを受けながらこれらの象徴の意味を深く考えれば、真理を見分け、天の御父とイエス・



キリストについて学び、霊的に成長する助けとすることができます。

わたしには神殿に入れない家族がいます。わたしの神殿結婚に招かれていて感じてもらうために、何ができるでしょうか。

これは微妙なテーマでしょう。神殿は主に奉獻されている主の宮であるため、参入する人々は、主が定められた標準に従って生活していることを証明する有効な神殿推薦状を所持しなければなりません。しかしながら、有効な神殿推薦状を持っていない人々も神殿の敷地に迎えることができます。そして、ほとんどの神殿に、家族が結び固めを受けている間待つことのできる部屋があります。神殿に入れない家族がいる場合、ビショップかほかの教会指導者に、待合室でその

家族とともにいるようお願いするとよいでしょう。

結婚する男女は、ビショップと相談のうえ、神殿推薦状を持っていない親族や友人のために特別な集いを開いてもよいでしょう。この集いは、招かれているという気持ちを感じてもらい、永遠の結婚について伝える機会となります。このような集いでは、いかなる形の儀式も行わず、誓いの言葉も交わしませんが、指輪の交換を行うことはできます。

神殿の儀式を受ける準備をするために、何をすべきでしょうか。

死者のためのバプテスマに参加するために定期的に神殿に参入し、ビショップが計画する神殿準備セミナーに参加し、また聖文とこの冊子の記事を研究することにより、準備することができます。

神殿のふさわしさに関する主の標準に従って生活することによっても準備することができます。御父なる神と、イエス・キリストと、主の回復された福音についての証を強くしてください。知恵の言葉と純潔の律法に従ってください。教会の指導者を支持し、什分の一を完全に納め、教会の集会に出席してください。ほかの人々と正直に交際してください。家庭での生活が教会の教えにかなったものであるようにしてください。バプテスマの聖約を守り、さらに高度な神殿の聖約を受け入れる準備ができるようにしてください。

▲ユタ州ジョーダンリバー神殿
奉獻日：1981年11月16日

▶イリノイ州ノーブー神殿
奉獻日：2002年6月27日





末日聖徒
イエス・キリスト
教会



ぼくはむかし

初心者用伴奏譜

淡々と ♩ = 48-58

F B \flat F B \flat F

1.ぼ く は む か し て ん に い ま し た
 1.み ん な が ま た て ん に こ れ る よう
 1.イ エ ス え ら ば れ メ シ ヤ と な り

B \flat F B \flat F

あ な た や あ い す る ひ と た ち と
 い の ち す あ い る あ い ひ と た の と
 そ の み な で し (死) と あ く ほ ろ ぼ は す

Gm Cm Gm Cm Gm B \flat m

て ん の ち ち は す べ て の ひ と
 さい タ ン か は そ く の も え い こ う ひ と
 い つ か ほ く も て ん の ち ち ま め つ

F Dm Gm C 7 B \flat B \flat m F

す く う け い か く を し め さ れ た
 イ エ ス に か た え る こ い こ が で さ ち ち
 い え に か え る こ と が ち ち ち ち ち
 よ

作詞・作曲：ジャンーン・ジェイコブス・ブラディー（1934 -） ©1987 Janeen Jacobs Brady.
 編曲：ジャニス・カップ・ペリー（1938 -） ©Janice Kapp Perry.
 教会あるいは家庭における一時的また非営利目的の使用に限り、複製することを許可する。



「天^{あかし}はどれほど
遠いのでしょうか。」

とトーマス・S・

モンソン大管長は尋ねます。

「わたしは証^{あかし}します。

それは決して遠くではありません。

それは天と地が出会う

この神聖な場所にあります。

天の御父はその子供たちに

最大の祝福を授けてくださいます。」

「神殿の祝福」13ページ参照

